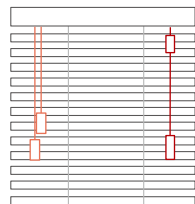
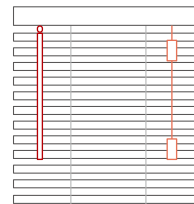




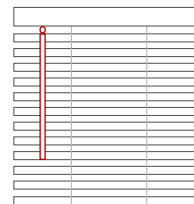
NORMAN® アルミブラインド仕様書



コード&コードタイプ



コード&ボタンタイプ



コードレスタイプ



コード＆コードタイプ
(25mm)

コード＆ボタンタイプ
(25mm)

コードレスタイプ
(25mm)

コードレスタイプ
(50mm)

モダンでシックなノーマンのアルミブラインド

洗練されたカラーバリエーション。

近代的な印象を与えるパンチングフィニッシュ加工スラット。

ノーマンのアルミブラインドは日々進化し続け、多様化する現代のライフスタイルに応えるものです。

光漏れがほとんどなく、また長期耐久性にも優れた大変実用的なブラインドです。



スラット幅25mm仕様



スラット幅50mm仕様



01. 印象を大きく変える2種類のスラットサイズ

スラットの幅は25mmと50mmからお選びいただけます。



25mm Window View

使いやすさと繊細さを兼ね備えたスタンダードタイプ。



50mm Window View

お手入れがしやすく、高級感を演出できる大判サイズ。
※コードレスタイプのみ製作可能。

02. Beautiful & Elegant

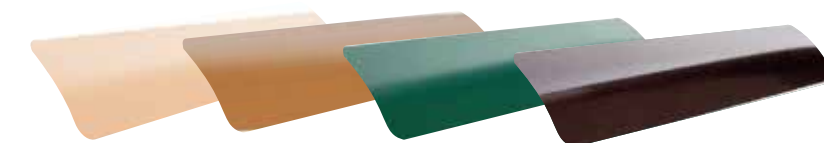
光を浴びると瑠璃のように輝くタッセル。

細部までこだわったデザインが、ブラインドをよりエレガントに魅せます。



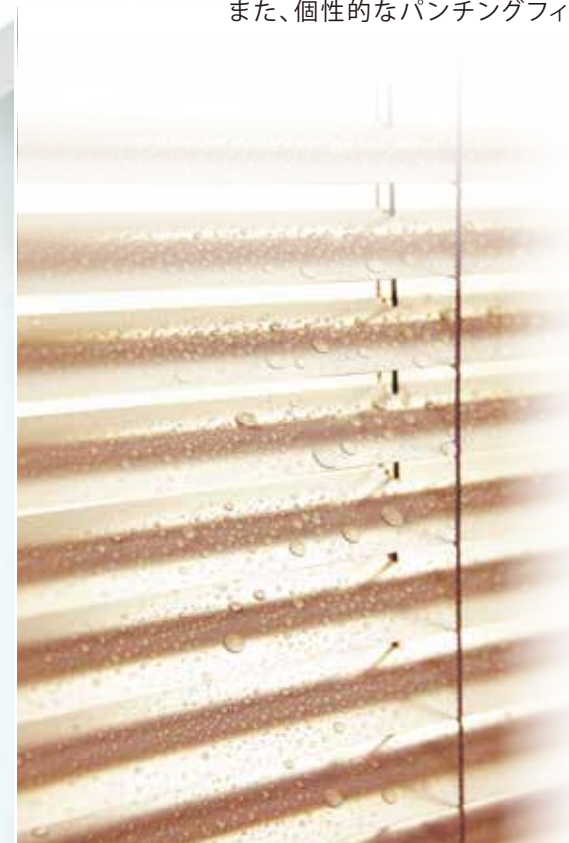
03. モダンで洗練されたカラーバリエーション

近代的なメタリックトーンや鮮やかなポップトーンなど、お部屋のイメージを自由自在に変えることができます。
また、個性的なパンチングフィニッシュ仕様のスラット(2色)もお選びいただけます。



04. 高い耐水機能 コードレスタイプ：50mm

アルミブラインドのスラットとボトムレールは、耐水機能つき。
メカ機構部とブラケットには、耐蝕アルミ合金やステンレスを使用しています。



05. 光漏れを改善し、プライバシーを守る

当社独自技術で、スラットとコードの間の隙間を極限まで低減しました。光漏れを改善し、プライバシーを守ります。



従来の製品

光が昇降コードを通す穴から漏れます。



独自のデザイン・技術で遮蔽性が向上

スラットとコードの間の隙間をなくすことで光漏れを改善します。

06. 機能性とデザイン性を兼ね備えたヘッドレール

ヘッドレールは、上品な丸みを帯びたデザインを採用。無駄がなく、機能性が高いのが特徴です。



25mm



50mm

後方にツバをつけたことにより、遮光性をより高めました。

07. 人にやさしく、環境にやさしいアルミブラインド

シックハウス症候群を引き起こす原因物質の一つとされるホルムアルデヒド。当社のアルミブラインドは、国が定める建築材料のホルムアルデヒド放散速度の基準値(5 $\mu\text{g}/(\text{m}^2 \cdot \text{h})$ 以下)を下回っています。5 $\mu\text{g}/(\text{m}^2 \cdot \text{h})$ 以下の基準値は、ホルムアルデヒドを放散する量を示す等級の中で最も低いもので、建築基準法の規制の対象外です。アルミブラインドは、小さなお子様がいらっしゃるご家庭など、どなたでも安心してご使用いただけます。

※ ホルムアルデヒド測定試験方法：JIS A 1901

※ 試験機関：一般財団法人ポーケン品質評価機構

暮らしを彩る豊富なカラーバリエーション

※ カラーによってスラットの対応サイズが異なります。 25mm：全色対応 50mm：◎ マークのカラー

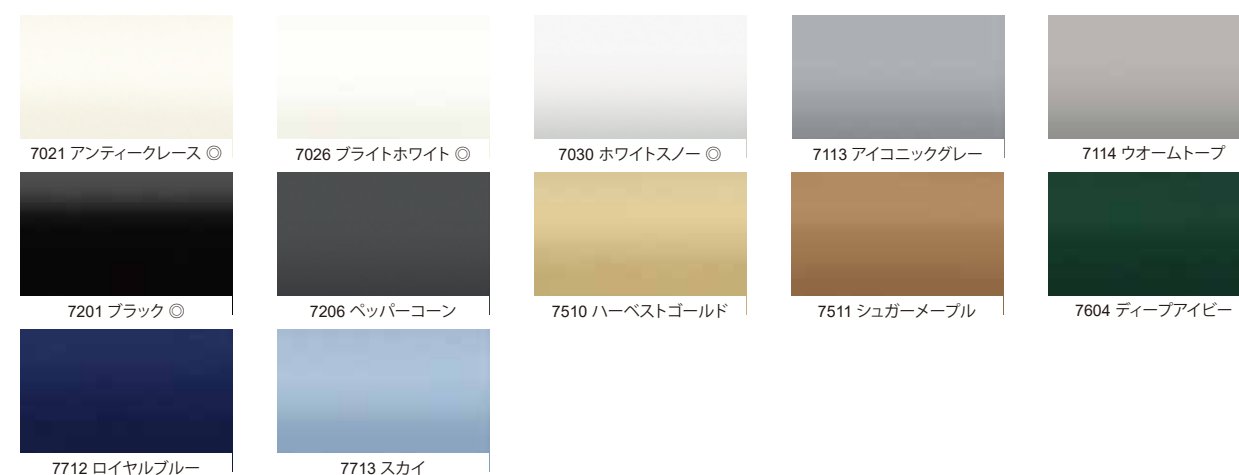
ベーシックカラー【グロス仕上げ(7色)】

ツヤ感があり素材の良さを活かしたカラー。日々のお手入れのしやすさも魅力です。



ベーシックカラー【マット仕上げ(12色)】

エレガントでありながら、光の反射をほどよく抑え、落ち着いた空間を生み出します。



特殊塗装カラー【スタッコ調(1色)】+15%

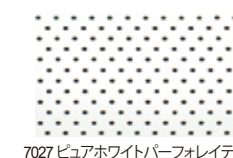
ランダムな凹凸加工で立体感のある仕上がり。どこか自然な温かみも感じられます。



7029 シャンパン

【パンチング(2色)】+10%

パンチング加工で、レースカーテンのような柔らかな光を演出。



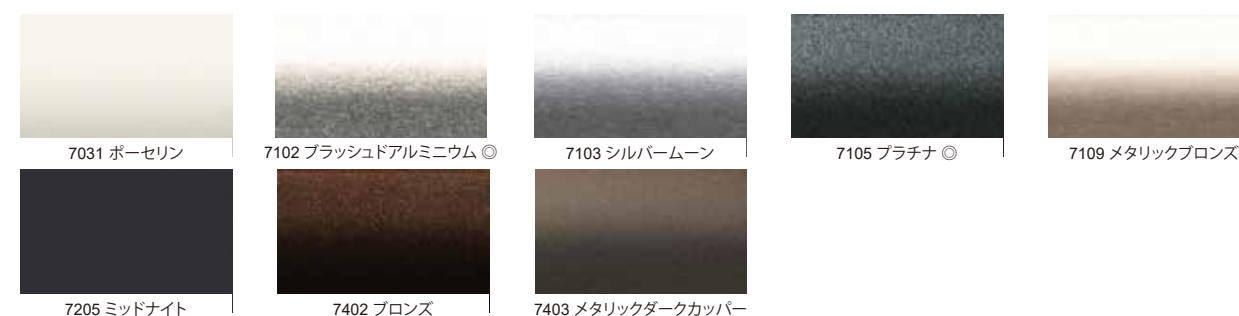
7027 ピュアホワイトパーフォレイテッド



7111 シルバーパーフォレイテッド

特殊塗装カラー【サテン・メタリック調(8色)】+10%

クールな印象の梨地仕上げや、光沢を効かせたモダンスタイル。



※ 商品の色は印刷の特性上実物とは多少異なる場合がございます。予めご了承ください。

作品集

あらゆる部屋を
あなた色のイメージで





スラットサイズ: 25mm | 窓枠天井付け | コード&コードタイプ | カラー: 7024 ピュアホワイト



スラットサイズ: 25mm | 窓枠天井付け | コード&ボタンタイプ | カラー: 7023 パニラ



スラットサイズ: 25mm | 窓枠天井付け | コード&ボタンタイプ | カラー: 7113 アイコニックグレー



アルミブラインドの特長	01
作品集	05

コード＆コードタイプ、コード＆ボタンタイプ

1. 仕様と構造	13	5. 採寸方法	24
1-1.コード＆コードタイプ スラット幅：25mm	13	5-1.窓枠天井付け/浅天井付け/鴨居付け	24
1-2.コード＆ボタンタイプ スラット幅：25mm	15	5-2.正面付け	24
1-3.付属部品の数	17	5-3.壁面付け	25
1-4.ラダーコード、昇降コードの数	17	5-4.カーテンボックス付け	26
1-5.製品重量の目安	17	5-5.カーテンレール付け	26
1-6.製品量算出式	17	5-6.大きな窓や製品幅が製作可能寸法を超える場合	27
1-7.配色表	18	(連窓仕様)	
2. 取り付けタイプ	19	6. 取り付け方法	27
3. 取り付け条件	19	6-1.取り付けの順序	27
3-1.窓枠天井付け/浅天井付け/鴨居付け	19	6-2.ブラケットの取り付け	28
3-2.窓枠正面付け	20	6-3.本体の取り付け	30
3-3.壁面付け	21	6-4.本体の取り外し	31
3-4.カーテンボックス付け	22	6-5.コードフックの取り付け	31
3-5.カーテンレール付け	22	7. 操作方法	32
4. 必要寸法一覧	23	7-1.コード＆コードタイプ	32
		7-2.コード＆ボタンタイプ	33
		7-3.ジョイントクリップから昇降コードが外れてしまったとき、または昇降コードが絡まってしまったときの修正方法	33

コードレスタイプ

1. 仕様と構造	35	5. 採寸方法	45
1-1.コードレスタイプ スラット幅：25mm	35	5-1.窓枠天井付け/浅天井付け/鴨居付け	45
1-2.コードレスタイプ スラット幅：50mm	37	5-2.正面付け	45
1-3.付属部品の数	39	5-3.壁面付け	46
1-4.ラダーコード、昇降コードの数	39	5-4.カーテンボックス付け	47
1-5.製品重量の目安	39	5-5.大きな窓や製品幅が製作可能寸法を超える場合(連窓仕様)	47
1-6.製品量算出式	39	6. 取り付け方法	48
1-7.配色表	40	6-1.ブラケットの取り付け スラット幅：25mm	48
2. 取り付けタイプ	41	6-2.ブラケットの取り付け スラット幅：50mm	51
3. 取り付け条件	41	7. 操作方法	54
3-1.窓枠天井付け/浅天井付け/鴨居付け	41	7-1.スラットの角度調整	54
3-2.窓枠正面付け	42	7-2.ブラインドを降ろす場合	54
3-3.壁面付け	43	7-3.ブラインドを上げる場合	54
3-4.カーテンボックス付け	43		
4. 必要寸法一覧	44		

8. サイズ定義と公差	55
9. お手入れ方法	56
10. 製品特性	56
11. 保証について	57

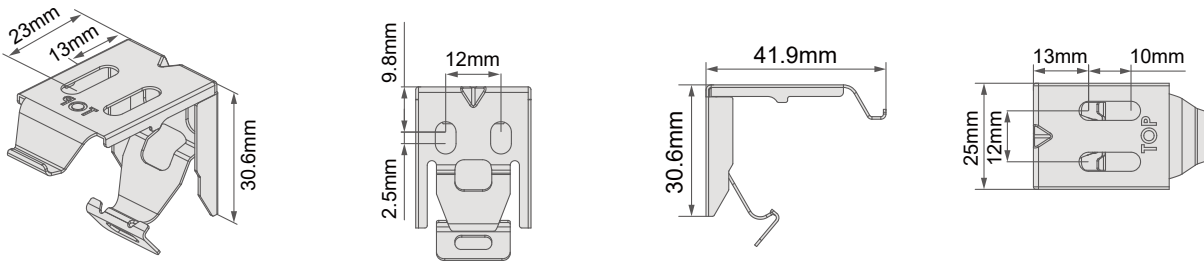
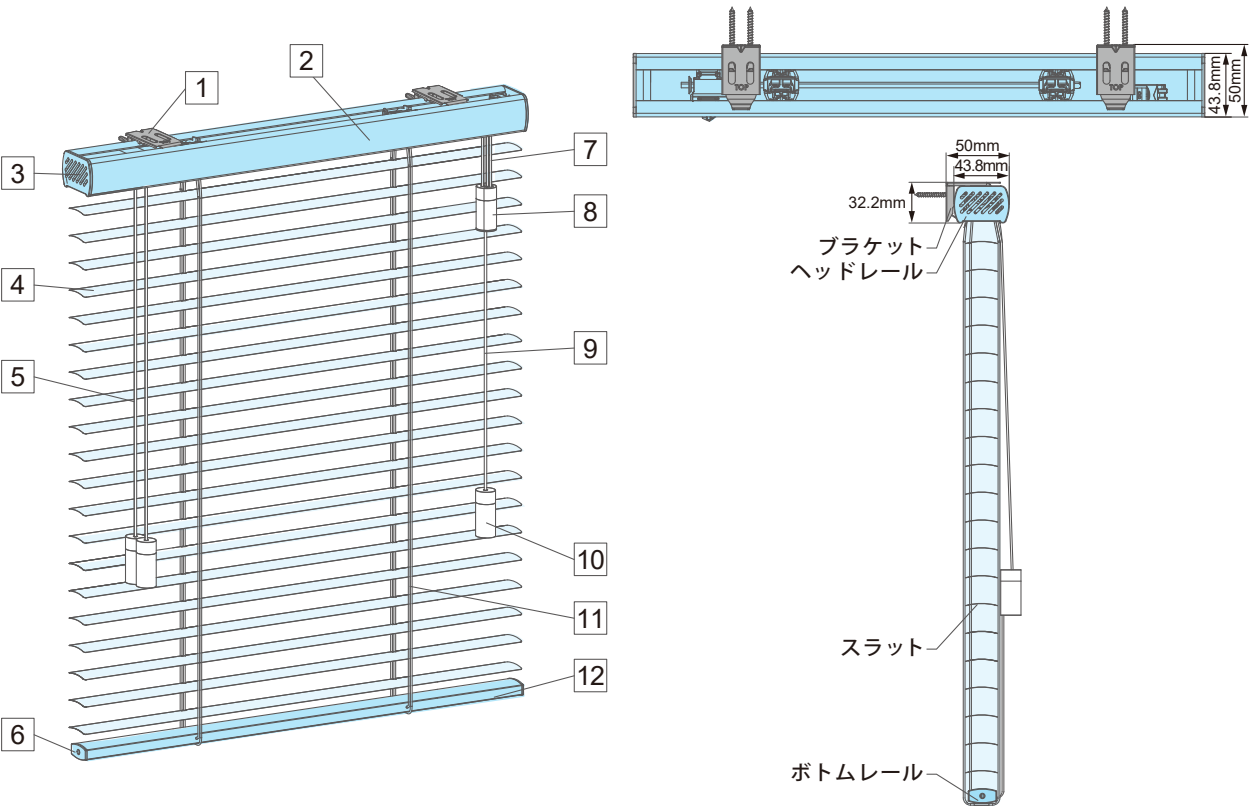


コード＆コードタイプ



コード＆ボタンタイプ

1-1コード&コードタイプ スラット幅:25mm



部品名	材質	備考
(1) ブラケット	スチール	-
(2) ヘッドレール	樹脂成形品	※
(3) ヘッドキャップ	樹脂成形品	透明マット
(4) スラット	アルミニウム	30色
(5) 調光コード	ポリエステル繊維	※
(6) ボトムキャップ	樹脂成形品	透明
(7) 昇降コード	ポリエステル繊維	※
(8) ジョイントクリップ	樹脂成形品	※
(9) 操作コード	ポリエステル繊維	※
(10) タッセル	樹脂成形品	※
(11) ラダーコード	ポリエステル繊維	※
(12) ボトムレール	樹脂成形品	※

※スラットの色に合わせて弊社規定にてコーディネートするため、色の指定はできません。配色表はP18をご覧ください。

製作可能寸法

製品幅 400mm ~ 2400mm
製品高さ 260mm ~ 3000mm
最大面積 5.57㎡
※製品高さが 2438mm を超えると、スラットの重なり部分の遮光率が下がる恐れがあります。

操作位置

標準仕様

左回転右操作 右回転左操作 グループ左操作 グループ右操作

操作コードの長さ

製品高さに応じて、下記表の通り製作します
【製品高さに対する操作コード類の標準長さ】

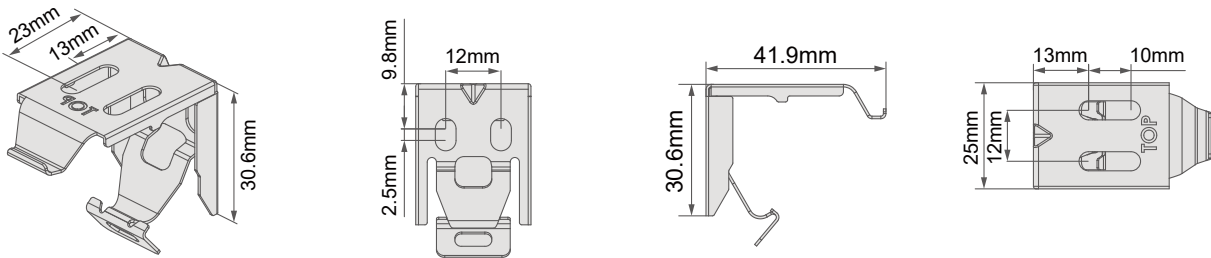
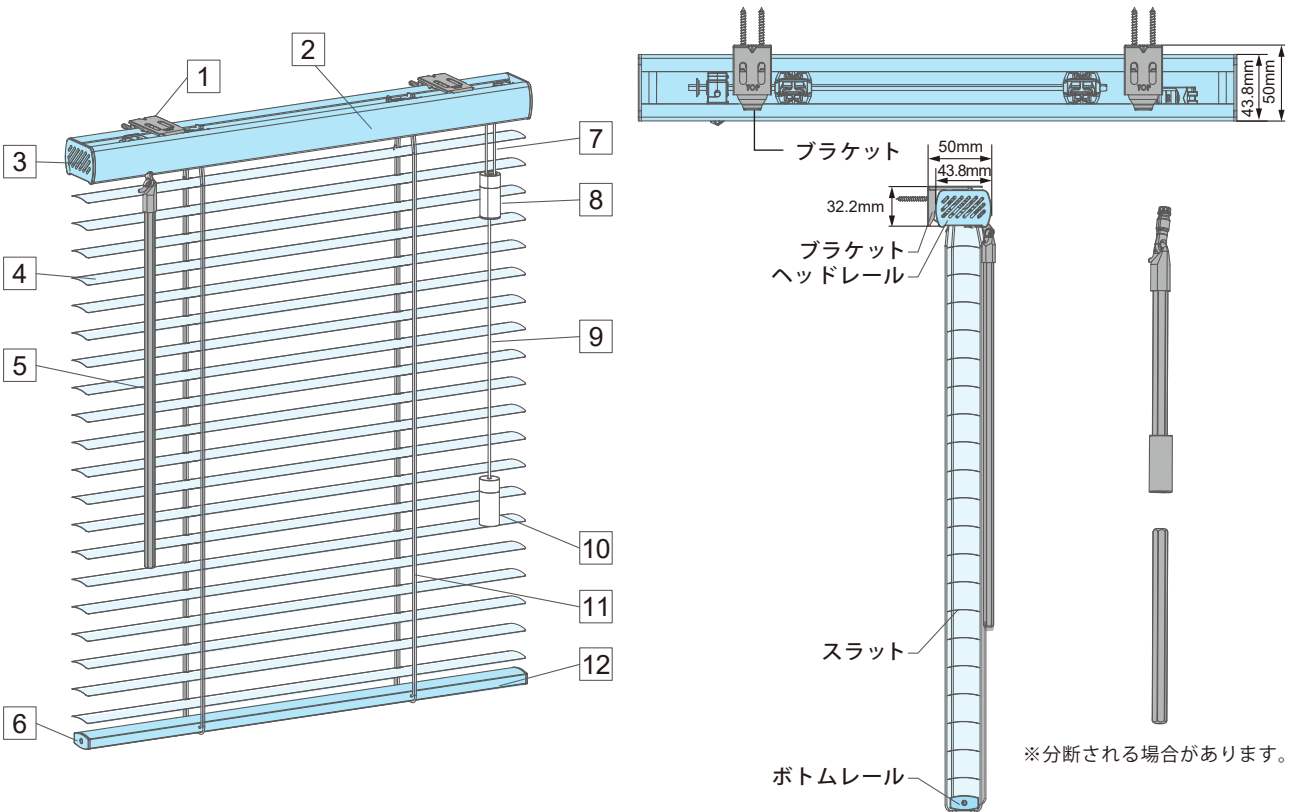
製品高さ(H) (ご発注の高さ)	~762mm	763mm~1066mm	1067mm~
操作コード類の長さ	508mm	2/3H	1/2H

【コード類の長さを指定する場合】
・設置箇所が高所の場合など、ご要望に合わせて、10ミリ単位で長さを指定できます。
・最短の設定可能な長さです。寸法下限:508 / 公差:-13mm ~ 0m

※ 標準の長さが通常の使用に適しており、あまり短くすると操作が制約されることがあります。

※1 ヘッドレール上辺からタッセル下辺まで

1-2コード&ボタンタイプ スラット幅:25mm



部品名	材質	備考
(1) ブラケット	スチール	-
(2) ヘッドレール	樹脂成形品	※
(3) ヘッドキャップ	樹脂成形品	透明マット
(4) スラット	アルミニウム	30色
(5) 調光ボタン	樹脂成形品	透明
(6) ボトムキャップ	樹脂成形品	透明
(7) 昇降コード	ポリエステル繊維	※
(8) ジョイントクリップ	樹脂成形品	※
(9) 操作コード	ポリエステル繊維	※
(10) タッセル	樹脂成形品	※
(11) ラダーコード	ポリエステル繊維	※
(12) ボトムレール	樹脂成形品	※

※スラットの色に合わせて弊社規定にてコーディネートするため、色の指定はできません。配色表はP18をご覧ください。

製作可能寸法

製品幅 400mm ~ 2400mm
製品高さ 260mm ~ 3000mm
最大面積 4.65㎡
※製品高さが2438mmを超えると、スラットの重なり部分の遮光率が下がる恐れがあります。

操作位置

標準仕様
左回転右昇降
右回転左昇降
グループ右回転右昇降
グループ左回転左昇降

操作コード / 調光ボタンの長さ

製品高さに応じて、下記表の通り製作します

【製品高さに対する操作コード/調光ボタンの標準長さ】

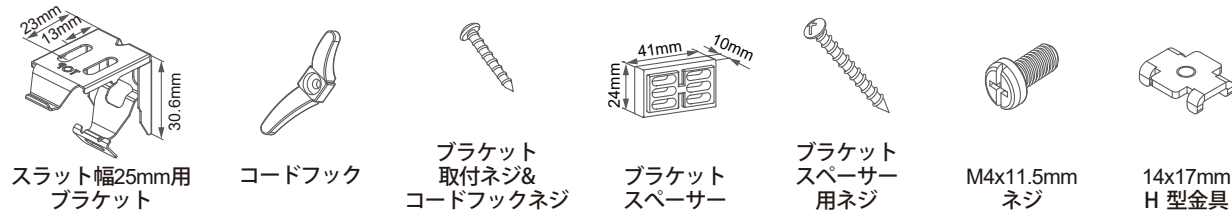
製品高さ(H) (ご発注の高さ)	~914mm	915mm~1219mm	1220mm~1828mm	1829mm~2438mm	2439mm~
操作コード/ 調光ボタンの長さ	451mm	610mm	756mm	972mm	1200mm

【操作コード/調光ボタンの長さを指定する場合】
設置箇所が高所の場合など、ご要望にあわせて、コードの長さとボタンの長さをご指定ください (※1)。
コード/ボタンの長さは451mm/610mm/756mm/972mm/1200mmの5種類から選択可能です。
コード/ボタンの長さ公差:-13mm ~ 0mm。
※ 標準の長さが通常の使用に適しており、あまり短くすると操作が制約されることがあります。

コード・ボタンの長さ
※1

【ボタンが分断して納品される場合】
ボタンの長さが製品幅より長いと、分断して納品される場合があります。
計算式で出た数字が1以下の場合、分断されずに納品されます。
計算式: (ボタンの長さ-30mm) / 製品幅
例1: 製品幅:1300mm ボタン:756mmの場合
(756mm-30) / 1300mm=0.558 → 1本で納品されます。
例2: 製品幅:600mm ボタン:972mmの場合
(972mm-30) / 600mm=1.57 → ボタンは分断で納品されます。
※1 ヘッドレール上辺からボタン / タッセル下辺まで

1-3 付属部品の数量



カーテンレール付け以外の場合

製品幅	ブラケット	コードフック	コードフックネジ	壁面付け以外の場合	壁面付けの場合	
				ブラケット取付ネジ	ブラケットスペーサー	ブラケットスペーサー用ネジ
~939mm	2	1	1	4	2	4
940mm~1524mm	3	1	1	6	3	6
1525mm~2159mm	4	1	1	8	4	8
2160mm~	5	1	1	10	5	10

カーテンレール付けの場合

製品幅	ブラケット	コードフック	コードフックネジ	M4 x 11.5mmネジ	14x17mm H 型金具
~939mm	2	1	1	2	2
940mm~1524mm	3	1	1	3	3
1525mm~2159mm	4	1	1	4	4
2160mm~	5	1	1	5	5

- ※ ブラケットスペーサーの数量は、1連の場合です。2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。
- ※ ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど) には使用できません。
- ※ 通常は19mmのネジが付属します。ブラケットスペーサー1連使用時は38mm、2連は51mm、3連は63.5mm、鴨居付けは31mmのネジが付属します。連結時のスペーサー奥行きは2連18mm、3連26mmとなります。
- ※ 仮止め用両面テープ数=ブラケット数x1+ブラケットスペーサー数x2。(カーテンレール付けには付属しません)



1-4 ラダーコード、昇降コードの数量

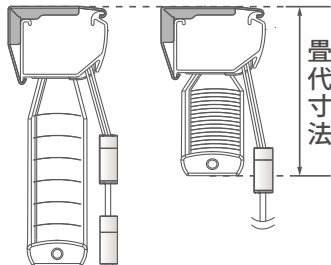
コード&コードタイプ、コード&ボタンタイプ							
製品幅	~812mm	813mm~889mm	890mm~1320mm	1321mm~1524mm	1525mm~1828mm	1829mm~2336mm	2337mm~
ラダーコード	2	3	3	4	4	5	6
昇降コード	4	4	5	4	6	5	6

1-5 製品重量の目安

製品全体(kg)	計 算 式	
	製品幅(m)x0.4756+製品幅(m)x(製品高さ(m)-0.0452)x0.6552+製品幅(m)x0.143	

※ 数値はあくまで目安であり、多少の誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

1-6 製品畳算出式



ブラインドをたたんだ状態の大きさ(畳代)

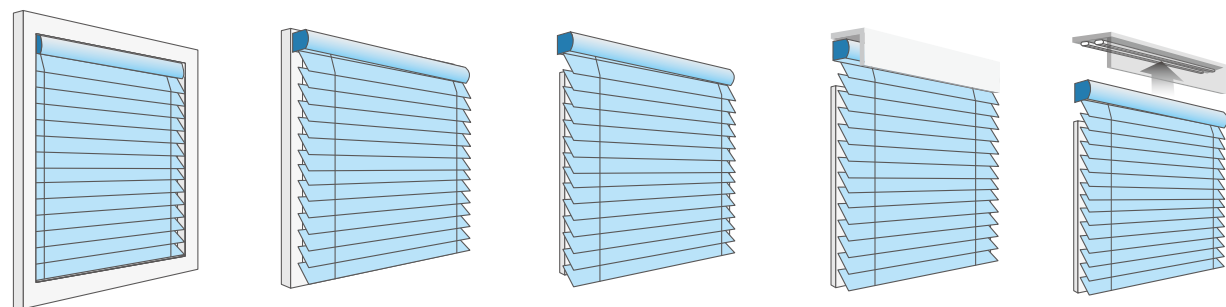
計 算 式
0.56x(仕上がり高さ(mm)-55)/19.5+41

※ 数値はあくまで目安であり、多少の誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

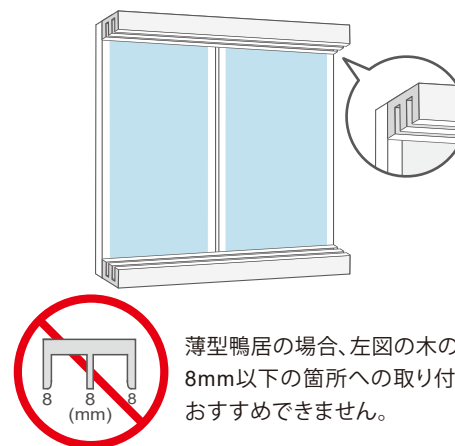
1-7 配色表

コレクション	スラット番号	スラット	ヘッドレール/ボトムレール	ラダーコード/昇降コード	ジョイントクリップ/タッセル
グロス仕上げ	7022	ベージュ	ブライトホワイト	アラバスター	コテージホワイト
	7023	パニラ	クリーム	アラバスター	コテージホワイト
	7024	ピュアホワイト	ホワイト	ホワイト	ホワイト
	7112	ムーンシャイン	グレーカシミア	シルバー	シルバー
	7115	グレーカシミヤ	グレーカシミア	シルバー	シルバー
	7309	ストロベリークリーム	ピーチ	ベタルピンク	ベタルピンク
	7507	ビスク	ビスク	アラバスター	ナチュラル
マット仕上げ	7021	アンティークレース	ブライトホワイト	アラバスター	コテージホワイト
	7026	ブライトホワイト	ブライトホワイト	アラバスター	コテージホワイト
	7030	ホワイトスノー	ホワイト	ホワイト	ホワイト
	7113	アイコニックグレー	シルバームーン	シルバー	シルバー
	7114	ウオームトープ	シルバームーン	シルバー	シルバー
	7201	ブラック	ブラック	ブラック	ブラックインク
	7206	ベッパコーン	ブラチナ	ブライトスチール	ブラックインク
	7510	ハーベストゴールド	ナチュラル	ナチュラル	サハラ
	7511	シュガーメーブル	シュガーメーブル	コテージパイン	サンド
	7604	ディーブアイビー	ディーブアイビー	グリーン	ディーブアイビー
	7712	ロイヤルブルー	ネイビーブルー	ネイビーブルー	エンサインブルー
	7713	スカイ	シーブルー	ブルー	スカイ
サテン・メタリック調	7031	ボーセリン	ブライトホワイト	アラバスター	コテージホワイト
	7102	ブラッシュドアルミニウム	シルバームーン	シルバー	シルバー
	7103	シルバームーン	シルバームーン	シルバー	シルバー
	7105	ブラチナ	ブラチナ	ブライトスチール	ブラックインク
	7109	メタリックブロンズ	メタリックブロンズ	カーキ	サンド
	7205	ミッドナイト	ブラック	ブラック	ブラックインク
	7402	ブロンズ	ブロンズ	ダークウォルナット	チョコレート
	7403	メタリックダークカッパー	メタリックダークカッパー	ブラック	ブラックインク
パンチング	7027	ピュアホワイトパーフォレイテッド	ホワイト	ホワイト	ホワイト
	7111	シルバーパーフォレイテッド	シルバームーン	シルバー	シルバー
スタック調	7029	シャンパン	ホワイト	ホワイト	ホワイト

窓枠天井付け/浅天井付け/鴨居付け (窓枠の内側に付ける場合) 窓枠正面付け (窓枠の正面に付ける場合) 壁面付け (窓枠の上の壁面に付ける場合) カーテンボックス付け (カーテンボックス内に付ける場合) カーテンレール付け (窓枠天井内/カーテンボックス内)



【鴨居付け】

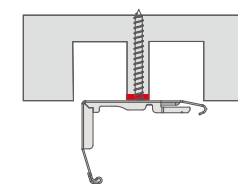


薄型鴨居の場合、左図の木の幅が8mm以下の箇所への取り付けはおすすめできません。

和室によく見られる障子枠の鴨居への取り付けは可能でしょうか？

原則として、取り付けには問題はありません。鴨居の寸法を確認し、ブラインドのブラケットが1点の平面に支えられることをご確認ください。なお、ヘッドレールの前側と鴨居の出幅が同じにならない場合がございます。

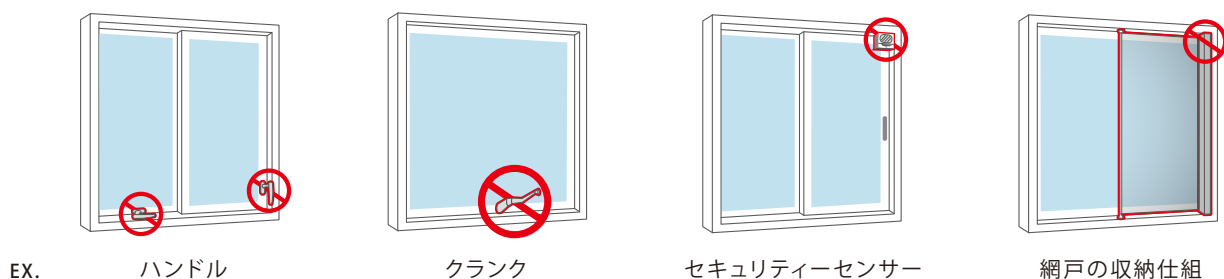
取り付けの側面図 (おすすめの取り付け方法)



03 取り付け条件

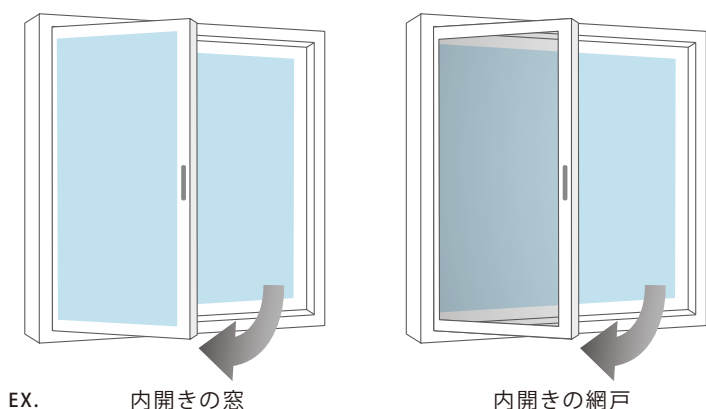
3-1 窓枠天井付け/浅天井付け/鴨居付け

条件1 障害物など干渉するものがないこと



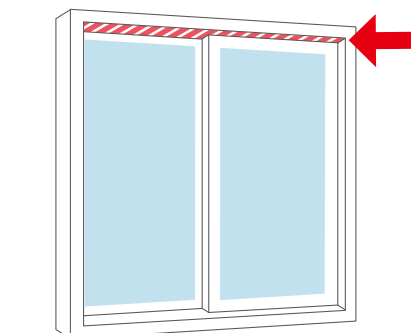
EX. ハンドル クランク セキュリティーセンサー 網戸の収納仕組

条件2 内開き窓・網戸は避けてください



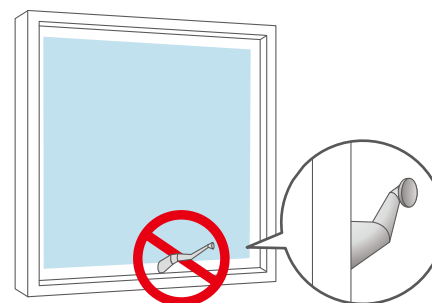
EX. 内開きの窓 内開きの網戸

条件3 下地が木材であること



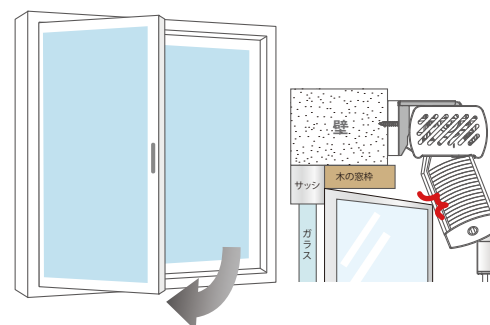
ネジを打ち込むため、窓枠の内側の材質が木材でできていること(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)

3-2 窓枠正面付け



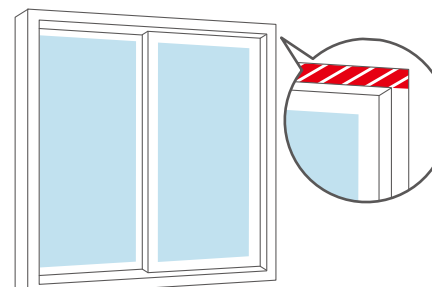
条件1 障害物など干渉するものがないこと

外に突出した取っ手などがある場合は、ブラインドの昇降を妨げます。取っ手が窓枠から突出するかどうかをご確認ください。



条件2 内開き窓・網戸は避けてください

内側に開く窓や網戸がある場合は、図のようにブラインドを収めると、扉の開閉時の障害になります。(設置位置や畳代をご確認ください)



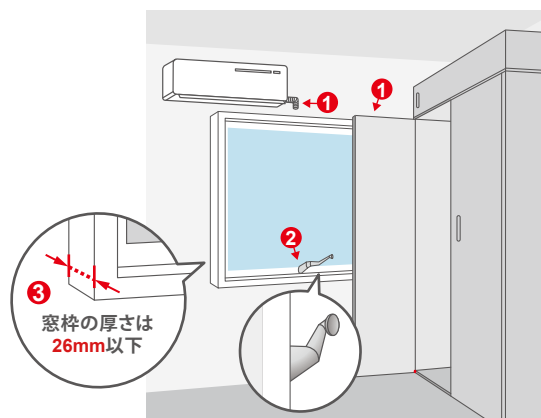
条件3 下地が木材であること

ネジを打ち込むため、取り付け箇所の材質が木材でできていること。(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)

3-3 壁面付け

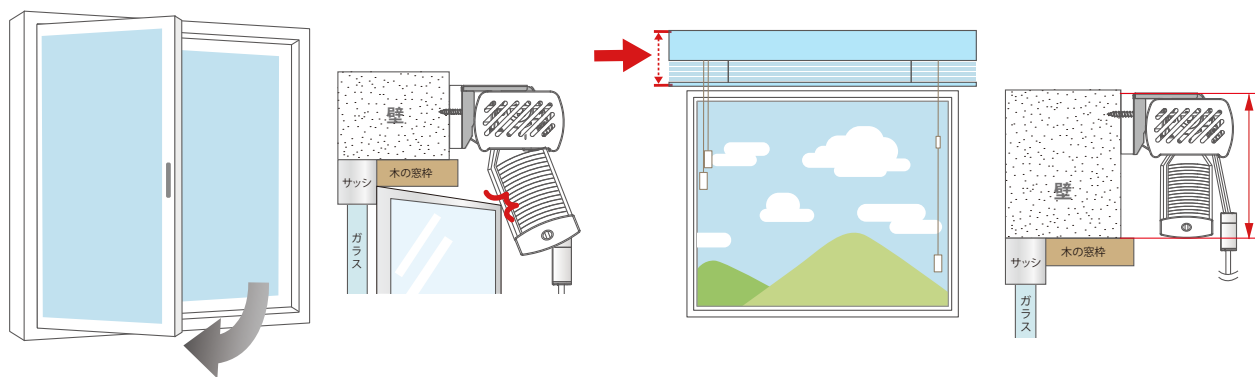
条件 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと

- ① 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと
- ② ブラインドの昇降操作に支障をきたす箇所や、窓枠よりはみ出した箇所に突出するものがないこと
- ③ 窓枠が壁面から **26mm** 以上突出していないこと



条件 2 内開き窓・内開き網戸の場合、昇降時の干渉を確認済みであること

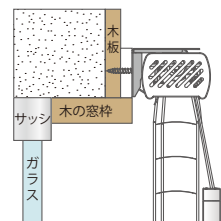
- 内側に開く窓や網戸がある場合、窓・網戸の開閉に支障がないよう、畳代計算は十分ご注意ください。
- 設置箇所における畳代の計算について
畳んだブラインドを窓枠上外に収めたいときには、P25 壁面付けの採寸方法をご参照ください。



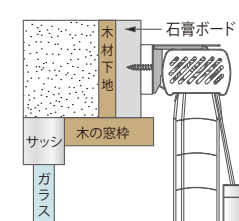
条件 3 取り付け箇所の下地が木材であること

- 下地素材が下図の場合、製品同梱のネジで取り付けが可能です。
- 下地素材が下図の場合、弊社のネジでの取り付けができません。専門業者による取り付けをおすすめいたします。

木材、ベニヤの場合

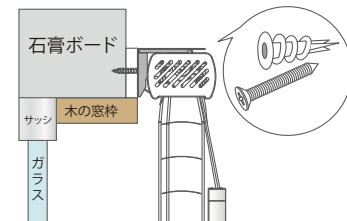


石膏ボードの下に木材の下地がある場合



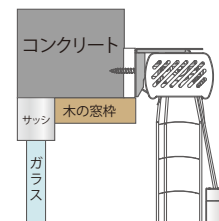
ネジが下地まで届かない場合があるため、下地までの距離をご確認ください。

木材の下地がなく、石膏ボードのみの場合



石膏ボード専用アンカーが必要です。
※非推奨

コンクリートのみの場合

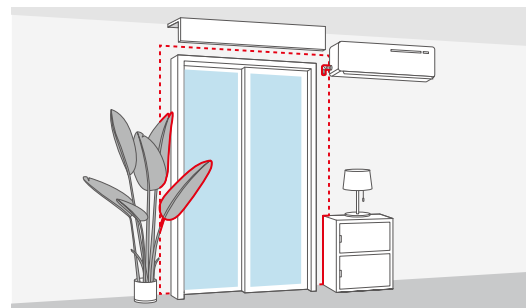


コンクリート専用ネジの施工方法をご確認ください。

3-4 カーテンボックス付け

条件 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと

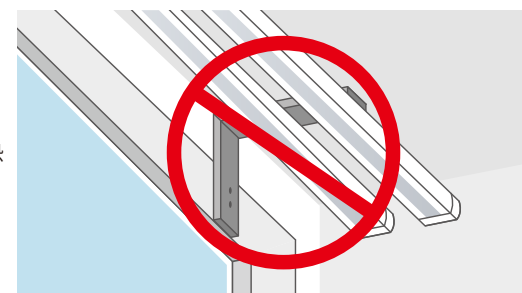
- 窓枠周辺に、家具やタンス、エアコンなど障害物がないことをご確認ください。



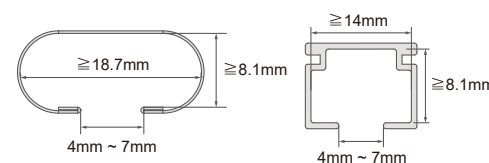
3-5 カーテンレール付け

条件 1 設置するカーテンレールが下記条件を満たすこと

- ① 製品重量を、P17 1-5 製品重量の目安の計算式でご確認ください
- ② カーテンレールの耐荷重量を仕様書、型番にてご確認ください。
製品重量の方が重ければ、製品がカーテンレールから脱落する恐れがあります。
- ③ カーテンレールの耐荷重量を支え切れるような取り付け方法、下地になっているか、ご確認ください。カーテンはとても軽いので、レールは簡易的に取り付けられている場合がございます。カーテンレールごと弊社製品が脱落する恐れがございます。
- ④ 右図のような外付け式のカーテンレールではブラインド操作の負荷に耐えられず、事故の恐れがあるため、絶対に使用しないでください。

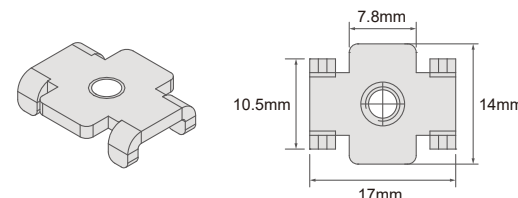


- ⑤ カーテンレールが右図の仕様と合致するか、ご確認ください。取り付け性能を発揮できず、カーテンレールから、製品が脱落する恐れがございます。



C型または角型の金属性
カーテンレールのみ設置可能です。
カーテンレール制限寸法は左図参照。

- ⑥ 取り付けの際は製品付属のH型金具を必ずご使用ください。

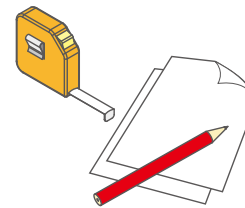


各寸法が足りない場合、ブラケットの取り付けができません。

取り付けタイプ	参考図	断面図	必要寸法
窓枠天井付け			50mm
浅天井付け (製品が窓枠から若干はみ出ます)			23mm
鴨居付け			68mm
窓枠正面付け			20mm以上
壁面付け			30mm以上
カーテンボックス付け			135mm以上
カーテンレール付け (窓枠内)			50mm
カーテンレール付け (カーテンボックス内)			135mm以上

【採寸の準備】

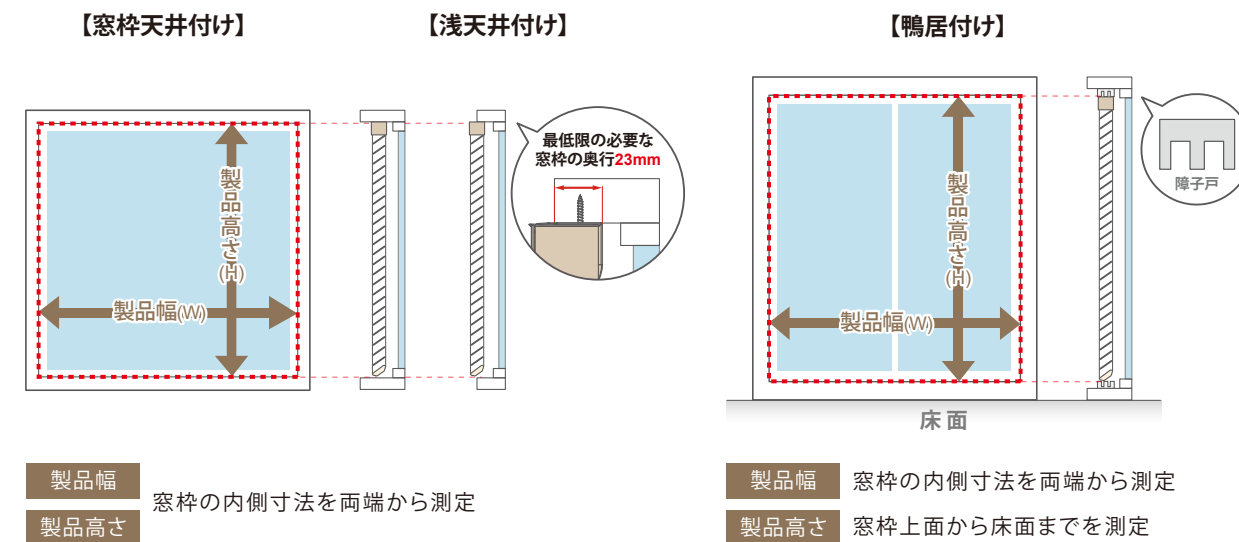
サイズを測る際に「メモ用紙」「ペン」「メジャー」をご用意ください。



【採寸時のご注意】

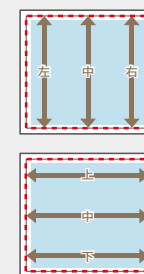
1. 新築等の図面サイズで注文すると、実際の窓枠に収まらないなどトラブルの原因となります。必ず実際の窓枠サイズを採寸後、ご注文ください。
2. 窓は見た目に同じでも、1ミリ単位でサイズが異なっている場合があります。取り付け対象となるすべての窓を採寸してください。

5-1 窓枠天井付け/浅天井付/鴨居付け

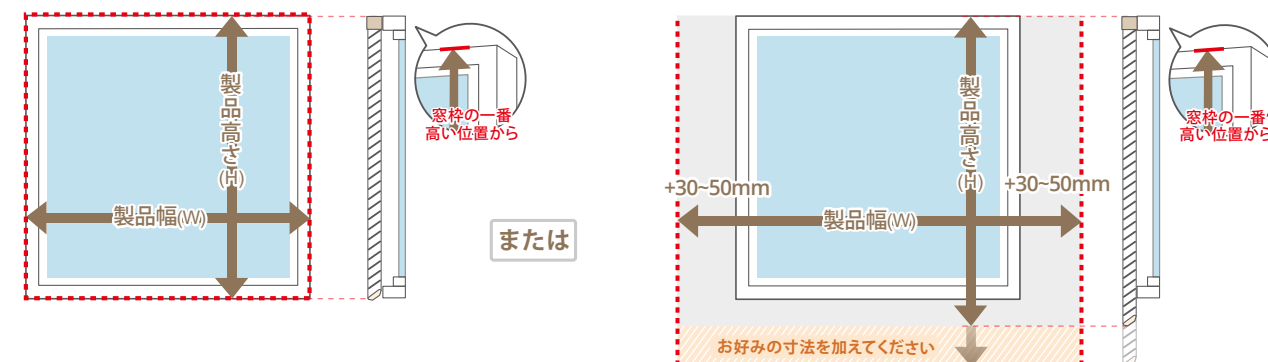


ご注意ください

1. 窓枠の歪みにより、製品が設置できない場合があります。幅・高さともに 3 か所以上 (上中下、左右中など) を採寸し、それぞれ最小の寸法にてご注文ください。
2. コード&コードタイプ、コード&ボタンタイプは、「枠内実寸サイズ」「製品実寸サイズ」のいずれでもご注文いただけます。
3. 製品を天井に設置し間仕切りとして使用する場合、天井の強度が足りず設置できない場合があります。必ず下地が木材の野縁部分であることをご確認ください。

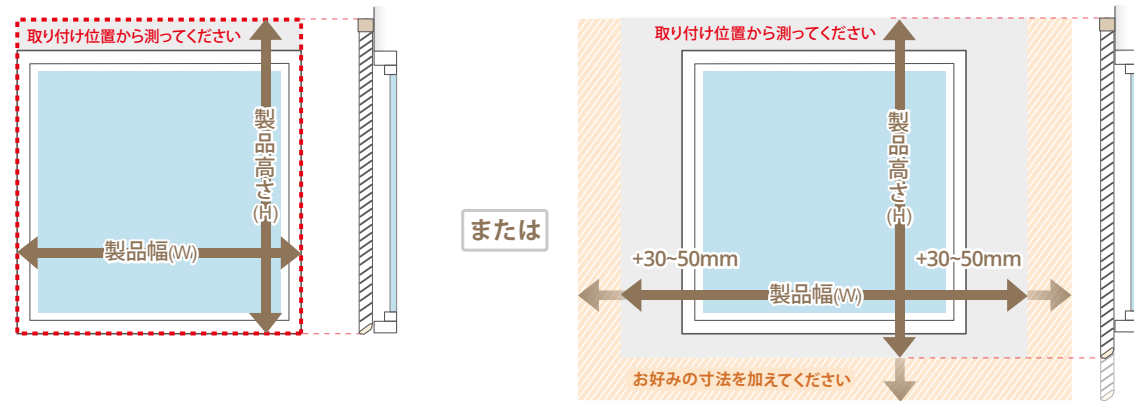


5-2 窓枠正面付け



- 製品幅 窓枠の外側寸法を両端から測定
- ・ 窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる場合、窓枠の外側寸法に左右各 30~50mmほど余裕をもたせることをおすすめします。ただし、周りに障害物がないか必ず確認してください。
- 製品高さ 窓枠の外側寸法を両端から測定
- ・ 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

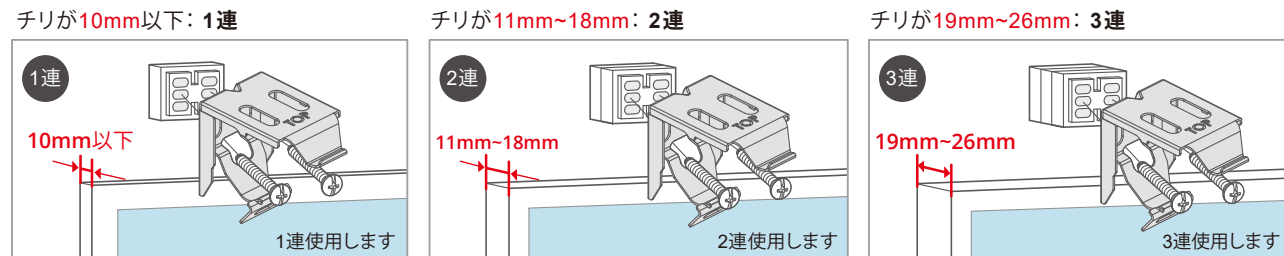
5-3 壁面付け



- 製品幅** 窓枠の外側寸法を両端から測定
- 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。
 - 窓枠と製品との隙間や光漏れが気になる場合、窓枠の外側寸法に左右各 30~50mmほど余裕をもたせることをおすすめします。ただし、周りに障害物がないか必ず確認してください。
- 製品高さ** 取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定
- 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

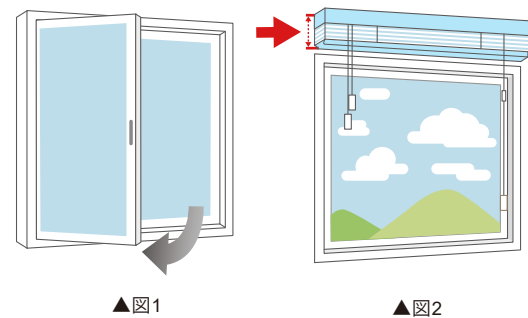
【窓枠のチリを逃がして取り付ける場合-ブラケットスペーサーの使用】

壁と窓枠にチリ(段差)がある場合、ブラケットスペーサーを使用することでブラインドの取り付けが可能です。チリの寸法に応じて、ブラケットスペーサーの個数を最大3つまで選択できます。それ以上の数が必要な場合は、壁面以外の取り付け方法をお選びください。

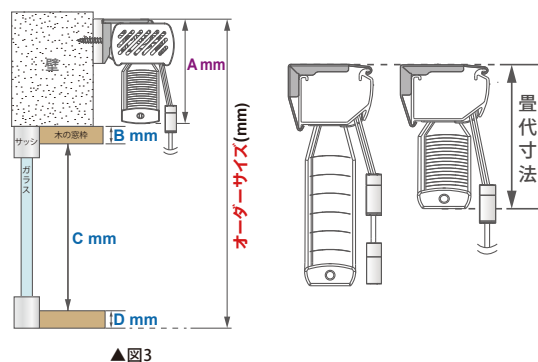


【製品が窓枠にかからないように収める場合の算出式】

内開きの窓や網戸がある場合(図1)や、製品を窓枠の上に収めたい場合(図2)は、下記計算をしたうえで取り付けを行うと、ブラインドを畳み込んだ際、窓枠にかからないように収めることができます。



①オーダーサイズの算出 ②畳代寸法の算出 ③取付位置の確定



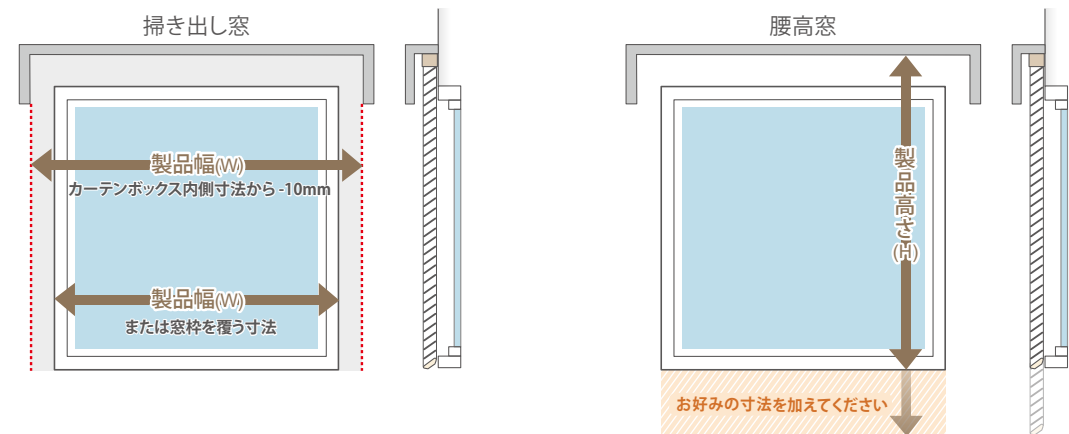
単位:mm

オーダーサイズ	$(B+C+D+39.4205)/0.9713$
畳代寸法	$0.56 \times (\text{オーダーサイズ} - 55) / 19.5 + 41$

- 取付位置
- ヘッドレールの上面が、窓枠より畳代分(A)上の位置に取り付けます。

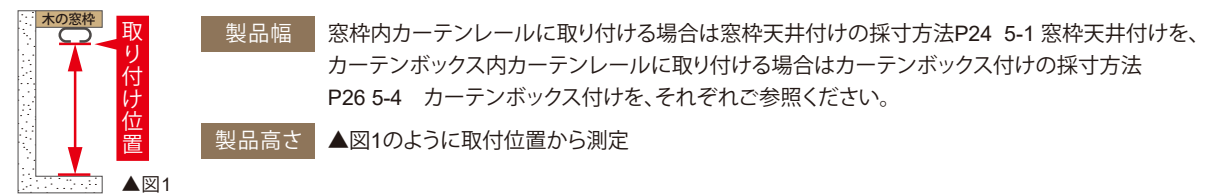
※ 数値はあくまで目安であり、多少の誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

5-4 カーテンボックス付け



- 製品幅** カーテンボックス内側寸法から測定
- カーテンボックス内側寸法から10mm程度を引いてください。または、窓枠を覆う寸法を測ってください。
- 製品高さ** 取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定
- 必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

5-5 カーテンレール付け



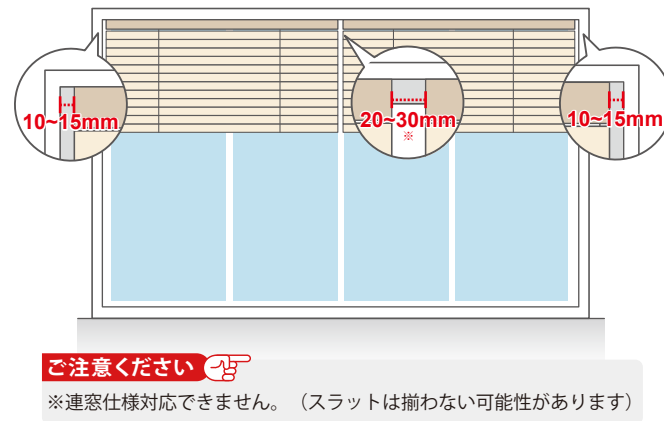
【取付タイプ、取付箇所の条件】

- 図面に示した奥行き寸法があること。
- カーテンレール付けの場合、壁とレールサイドの間に隙間(25ミリ以上)がある事をご確認ください。
※ 隙間が25ミリ以上ない場合、一度レールを取り外した上で、付属されるH型金具を装着してください。(P28 6-2ブラケットの取り付けを参照。)レールを戻す際、ネジ穴が取り外しにより、ゆるくなり再度穴の使用に適さない場合があります。その場合、新たに穴をあける必要があります。

カーテンレール付け (窓枠天井付け)	カーテンレール付け (カーテンボックス付け)
1. 取り付けレールの前面から壁面まで 23.5mm 以上あること。 2. 奥行は 50mm 以上あること。	1. 取り付けレールの前面からカーテンボックス前側まで111.5mm 以上あること。 2. 奥行は 135mm 以上あること。

5-6 大きな窓や製品幅が製作可能寸法を超える場合（連窓仕様）

台数を分けて設置する場合は、窓サッシを境にすると見栄えも良くなります。採寸方法は1台の時と同様、設置個所の窓枠内側の寸法を測ってください。そこから幅を台数分で割ったサイズをもとに、製品に合わせ、1台あたりの幅から30mm程寸法を引くことをおすすめします。取り付け時の隙間は片側（窓枠とスラット）約15mm、2台の間（スラットとスラット）は約30mmとなります。外付けの場合も、製品間に20～30mmの隙間が必要です。

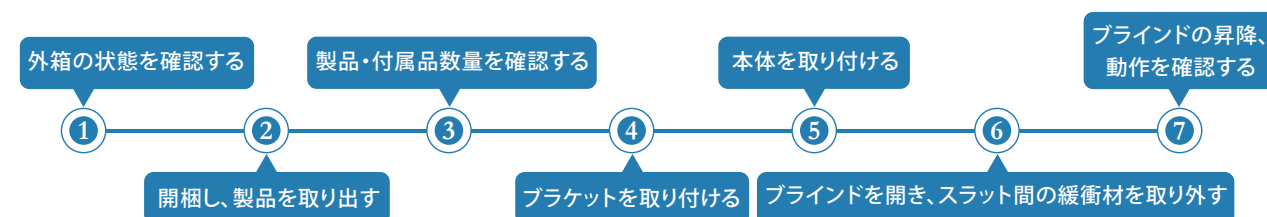


06 取り付け方法

ご注意ください ブラケット取り付け時は必ず以下項目を確認したうえで本体の設置を行ってください。

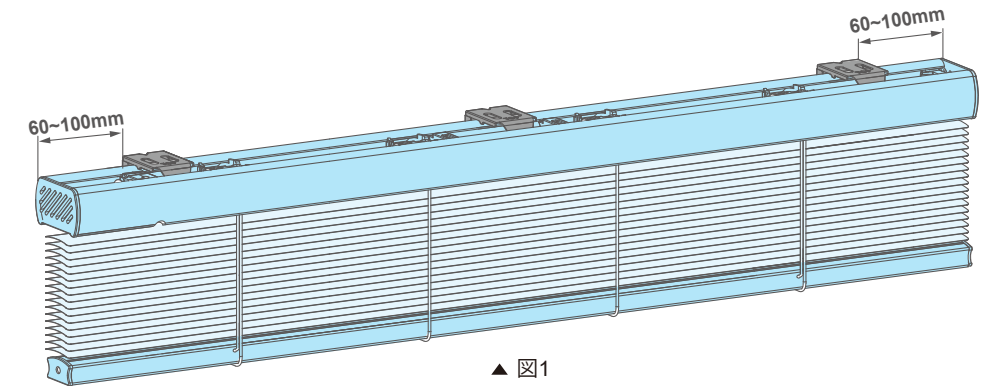
ブラケット取り付け後確認項目	正しい	間違い
すべてのブラケットが一直線に設置されていること	俯瞰図	ブラケットが一直線に揃っていない
		ブラケットが一直線に揃っていない
ビスがブラケットに対して垂直に取り付けられていること		ビスが斜め締めになってしまい、ビス頭がしっかりとブラケットに密着していない

6-1 取り付けの手順

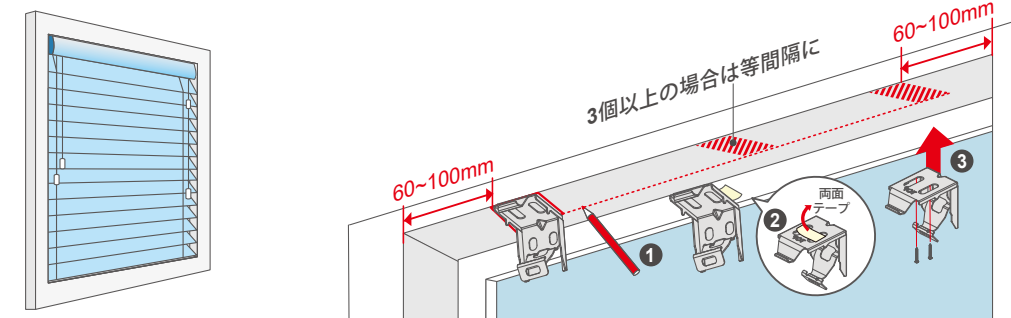


6-2 ブラケットの取り付け

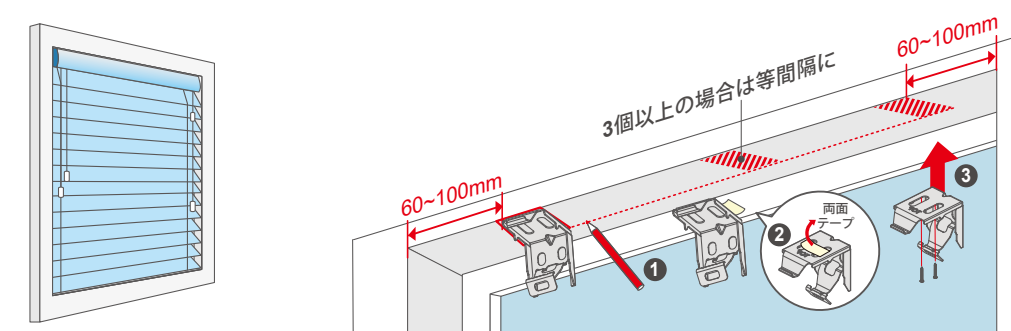
- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めて、ブラケットをヘッドレールの両端部から約 60～100mm 内側に両面テープで仮止めしてください。
- 各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。
- ブラケットを 3 個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が均等になるようにしてください。下記図のように、なるべくヘッドレール内の機構部を避けるよう、ブラケットを取り付けてください。(図1)



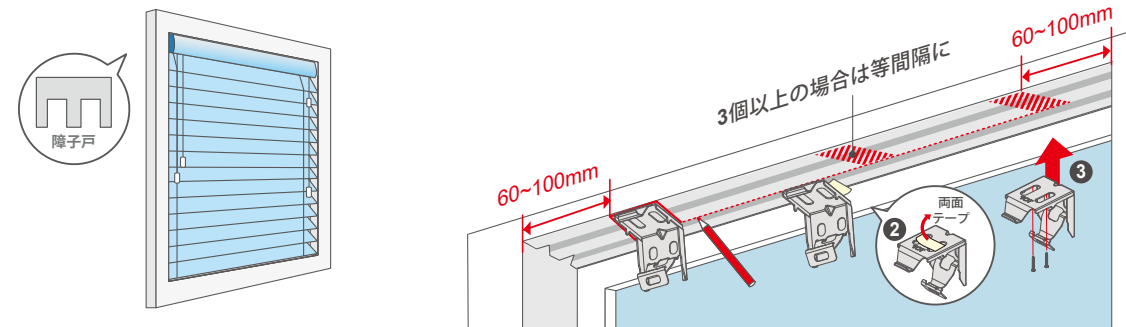
窓枠天井付け



浅天井付け

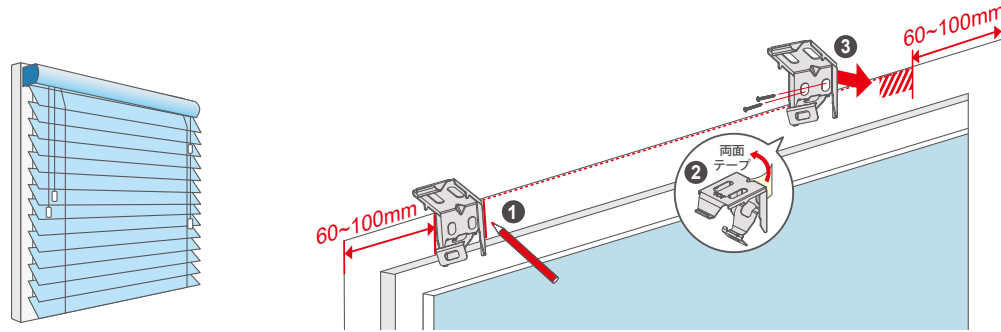


鴨居付け

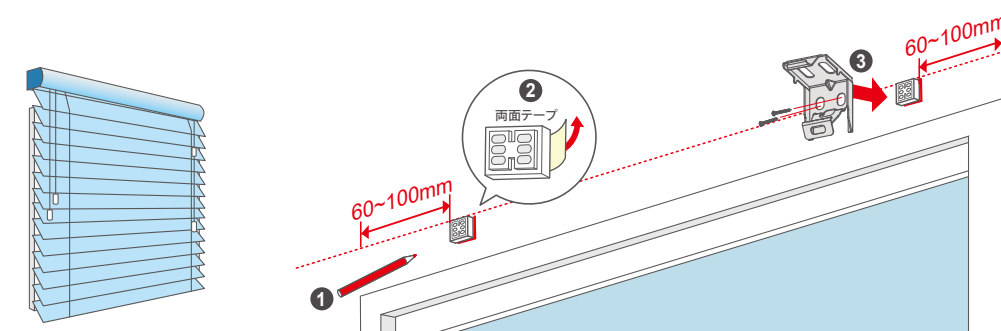


- ブラケットが図のような平面位置に接することを確認し、ネジを凸部分の面に差し込み、固定してください。
 - ブラケットを 3 個以上使用する場合は、中間のブラケットとの間隔が均等になるようにしてください。
- ※ 障子枠(鴨居)の取り付けには基本的問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

窓枠正面付け

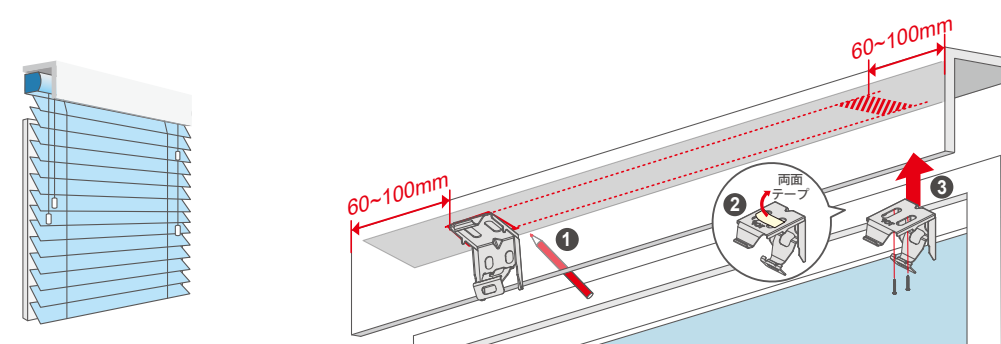


壁面付け

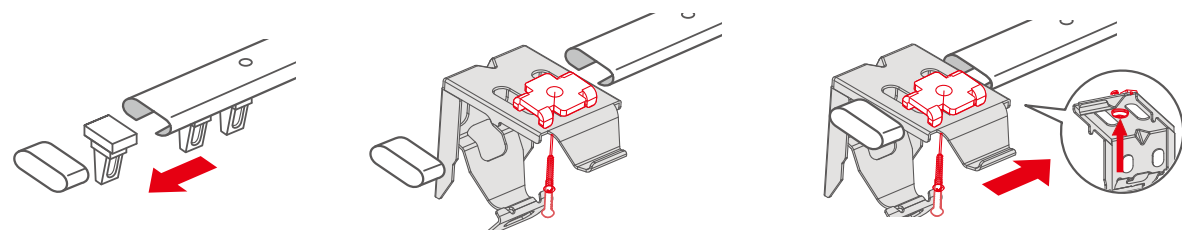


- ブラケットスペーサーを使用する壁面付けの場合は、取り付け箇所にブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。ブラケットを左右平行(水平)に、採寸された高さと同じ高さの位置に取り付けてください。

カーテンボックス付け

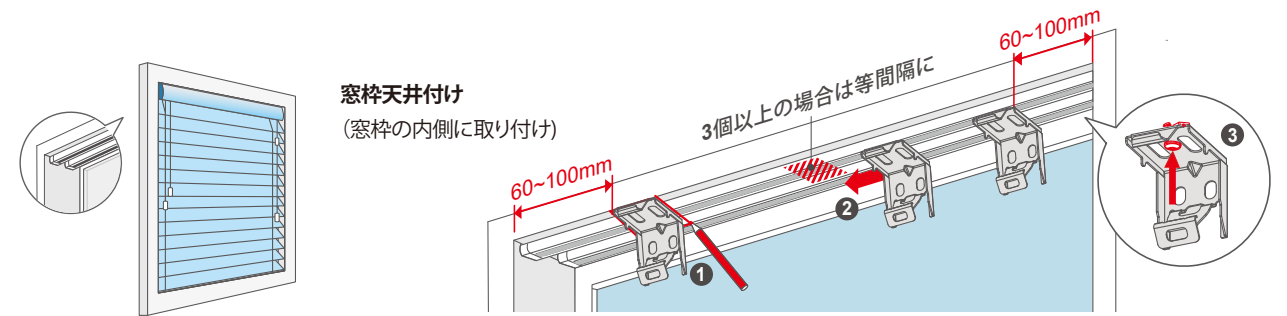


カーテンレール付け(コード&コードタイプとコード&ボタンタイプのみ適用)

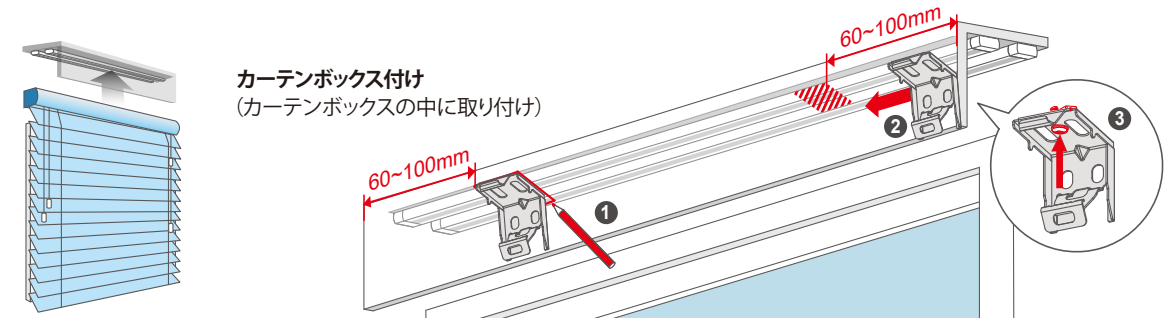


- カーテンレールからランナーを外します
- ネジを仮止めします
- 隙間を利用しレールにスライドさせます

- ブラケットとH型金具を合わせ、ネジで仮止めします。(この時点では仮止めにしてください。)
H型金具とブラケットと一緒にカーテンレールの端からスライドさせます。



窓枠天井付け (窓枠の内側に取り付け)

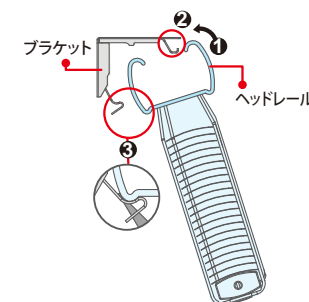


カーテンボックス付け (カーテンボックスの中に取り付け)

- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めます。ヘッドレールの両端部から約 60~100mm 内側に位置を決め、各ブラケットが左右平行(水平)になるよう仮止め中のネジをしっかりと固定してください。
- ブラケットを 3 個以上使用する場合は、中間のブラケットとの間隔が均等になるようにしてください。

6-3 本体の取り付け

ヘッドレールをブラケット手前のツメに引っ掛けて、ヘッドレールを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込んで固定してください。取り付けが完了するまでは、なるべくスラットに触れないようお願い致します。



取り付けのポイント- ① 目視確認!

ブラインドのブラケット取り付けは必ず最後に、目視でブラケットのツメがヘッドレールの引っかかりについていることを確認してください。また、カチッと音がしてもツメが引っかかっていない場合がございます。

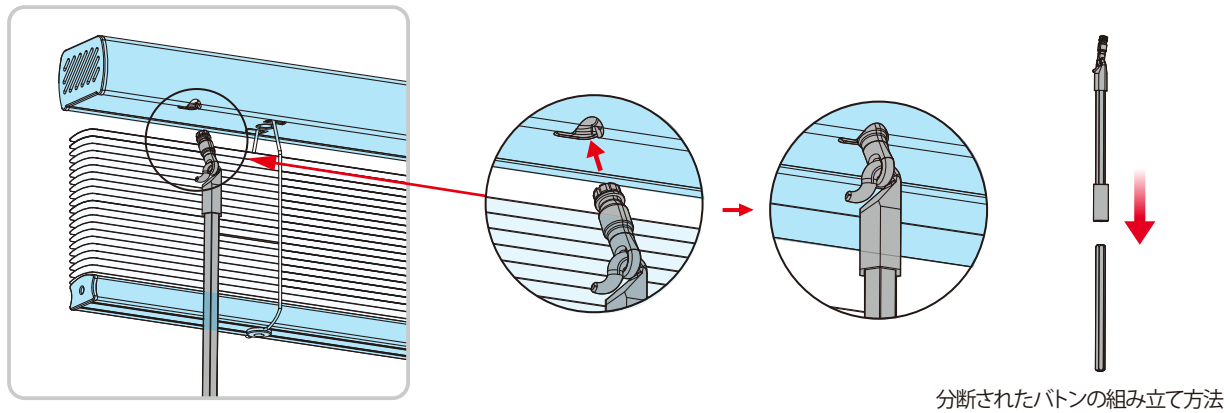
取り付けポイント- ②

商品幅により、ブラケットにヘッドレールを取り付ける際、まれにブラケットの位置がヘッドレールのしなりがよくない箇所にあたり、ヘッドレールを押し込むのが困難な場合があります。その場合、ブラケットの左右位置を若干調整したのち、ブラケットの設置位置が水平かどうか再度確認の上、強めに押し込んでください。

警告 取り付けが不完全ですと製品が落下して、ケガや物が破損する原因となる恐れがあります。必ず最後の目視確認を十分に行ってください。
また、ハンマーなどで叩くとブラケットが変形し、取り付けができなくなってしまう場合がございます。

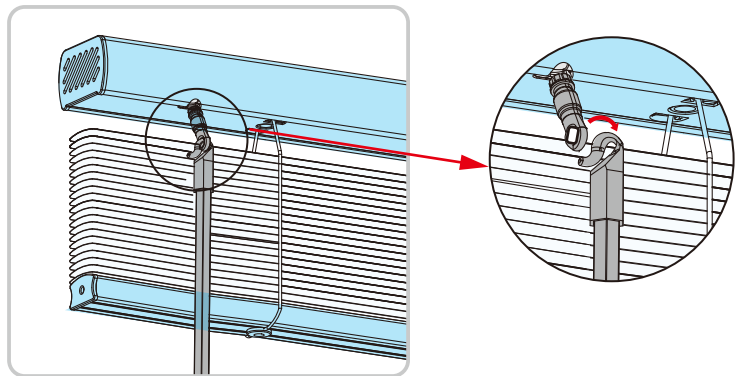
バトンの取り付け (バトンのある製品のみ)

製品梱包の都合により、操作ボタンが分断される可能性があります。
分断された操作ボタンが届いた場合、組み立てた上で、本体に取り付ける必要がございます。



バトンの取り外し (バトンのある製品のみ)

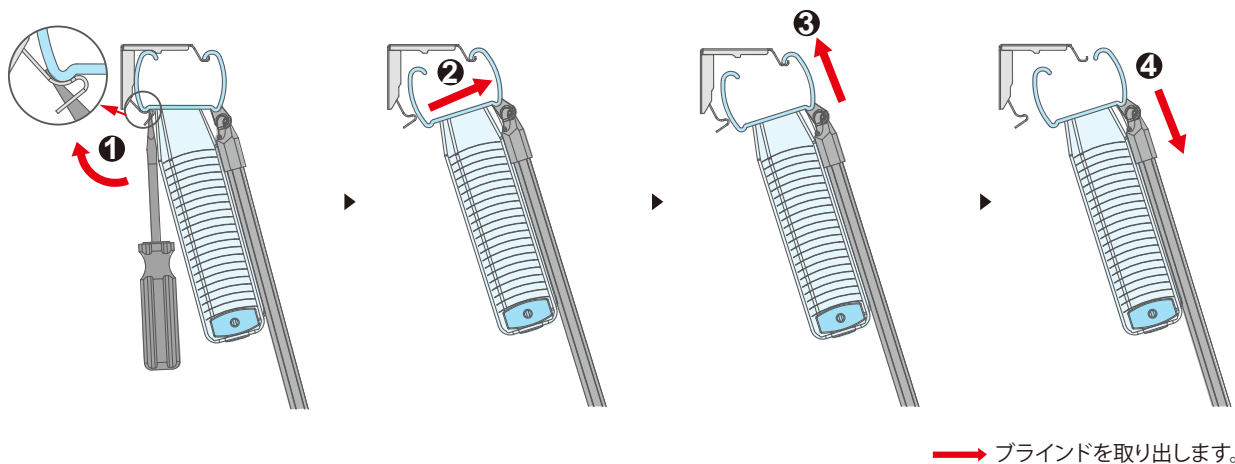
操作ボタンのフックから操作ボタンのジョイント部より外してください。



6-4 本体の取り外し

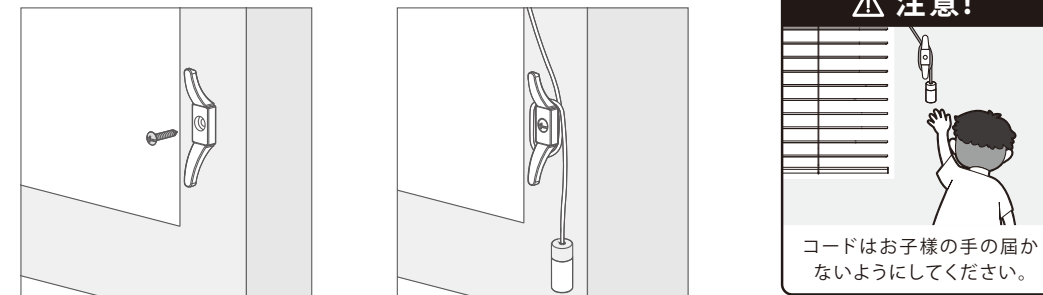
ブラケットの前側の隙間にマイナスドライバーを差し込んで、図①～④の手順でヘッドレールの前側に掛かっているツメを外します。
ヘッドレールを④の方向へ取り外しブラインドをブラケットから取り出します。

コード & ボタンタイプ



6-5 コードフックの取り付け

- コードフックの取り付け位置を決めます。(ブラインドの操作に支障がない場合は、窓枠の内側でも外側でもコードフックの取り付けができます。なお、コードフックは必ずお子様の手の届かない位置に取り付けてください。)
- コードフックネジで取り付けてください。※コードフックネジは木部用です。



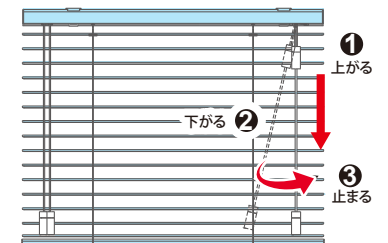
△ ご注意ください お子様をコード等で遊ばせないでください。コード等が首や体に巻き付くなどして事故を招く恐れがありますのでご注意ください。
操作をしない時は、お子様の手が届かない位置でコードを束ね、クリップに固定してください。

07 操作方法

7-1 コード & コードタイプ

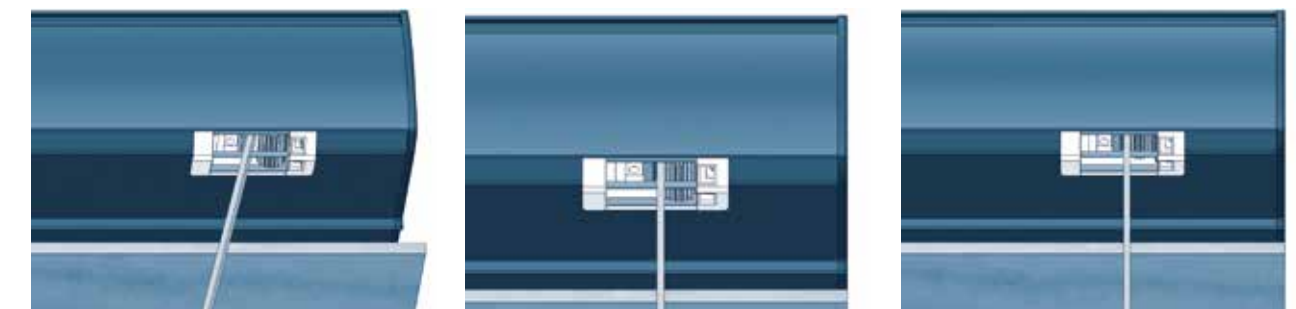
ブラインドの上げ方

上昇操作をする前には、スラットを水平の状態にしてください。
操作コードのタッセルを①の方向に引くとブラインドが上がります。
手を離すとブラインドが止まります。



ブラインドの下げ方

操作コードのタッセルを②の方向にすると、ブラインドが下がります。
③の方向に戻すとブラインドが止めたい位置で止まります。

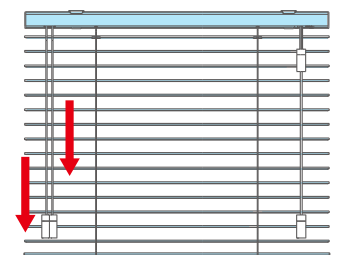


① ロック解除状態 操作コードを窓枠内側に引くとロック解除状態となり、ボトムレールが下がります。
② 準ロック状態 ブラインド上昇操作のみ可。操作をやめると[③ ロック状態]になります。
③ ロック状態 コードがロックされブラインドが下がりません。コードを引くと[② 準ロック状態]になります。

スラットを閉じた状態で昇降操作をしないでください。故障の原因になります。

スラットの角度調節

回転コードのタッセルを矢印の方向に交互に引くとスラットの角度が調節できます。



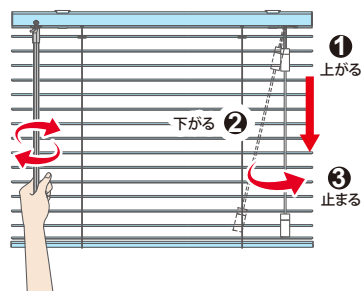
7-2 コード&ボタンタイプ

ブラインドの上げ方

上昇操作をする前には、スラットを水平の状態にしてください。
操作コードのタッセルを①の方向に引くとブラインドが上がります。
手を離すとブラインドが止まります。



▶ 操作動画



ブラインドの下げ方

操作コードのタッセルを②の方向にすると、ブラインドが下がります。
③の方向に戻すとブラインドが止めたい位置で止まります。



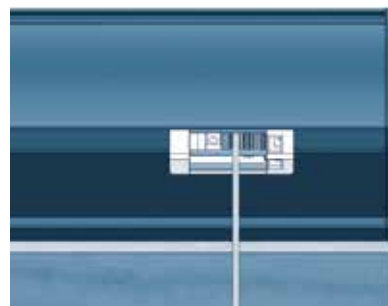
①ロック解除状態

操作コードを窓枠内側に引くとロック解除状態となり、ボトムレールが下がります。



②準ロック状態

ブラインド上昇操作のみ可。
操作をやめると[③ ロック状態]になります。



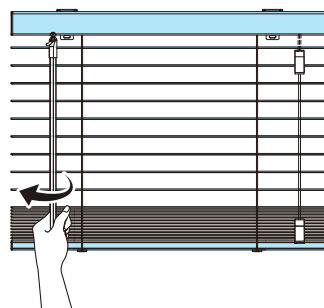
③ロック状態

コードがロックされブラインドが下がりません。
コードを引くと[②準ロック状態]になります。

スラットを閉じた状態で昇降操作をしないでください。故障の原因になります。

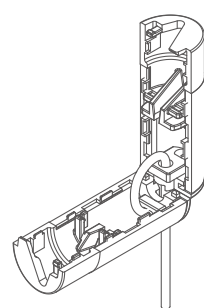
スラット(はね)の角度調節

調光ボタンを左に回す場合、スラットは上に向きます。
ボタンを右に回す場合、スラットが下に向きます。

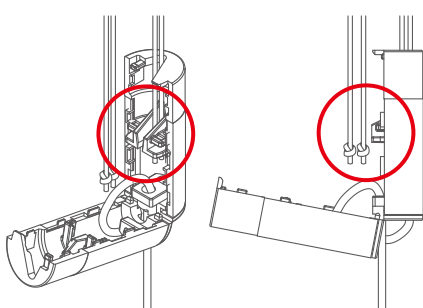


ジョイントクリップの復旧方法

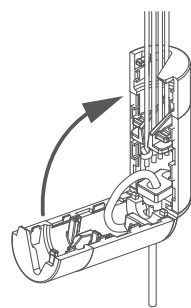
7-3 ジョイントクリップから昇降コードが外れてしまったとき、または昇降コードが絡まってしまったときの修正方法



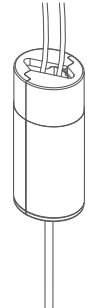
ジョイントクリップを開きます



昇降コードの絡まりなどを解き、
上図に示された窪みに昇降コードを
配置してください



垂直にコードを垂らし、
昇降コードが絡まないことを
確認してください

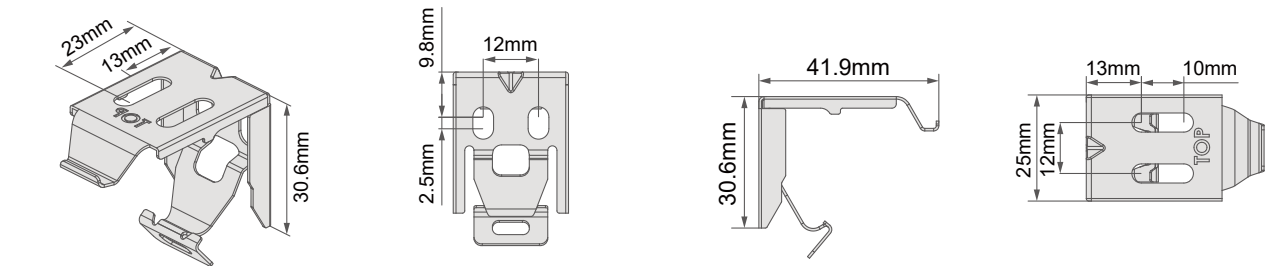
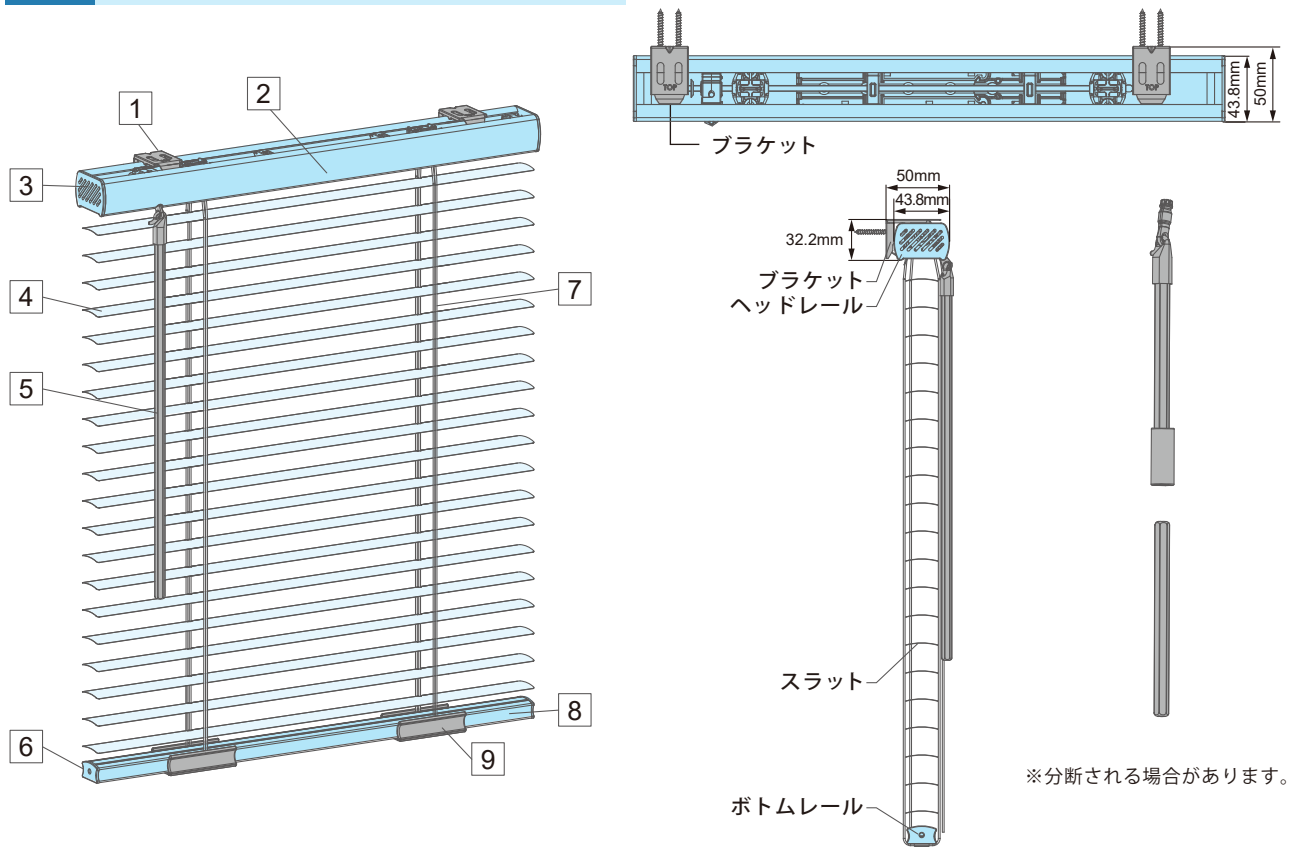


ジョイントクリップを閉じ、
しっかりと組み合わせて
ください



コードレスタイプ
スラット幅：25mm、50mm

1-1コードレスタイプ スラット幅:25mm



部品名	材質	備考
(1) ブラケット	スチール	-
(2) ヘッドレール	樹脂成形品	※1
(3) ヘッドキャップ	樹脂成形品	透明マット
(4) スラット	アルミニウム	30色
(5) 調光ボタン	樹脂成形品	透明
(6) ボトムキャップ	樹脂成形品	透明
(7) ラダーコード	ポリエステル繊維	※1
(8) ボトムレール	樹脂成形品	※1
(9) グリップ	樹脂成形品	透明、※2

※1 スラットの色に合わせて弊社規定にてコーディネートするため、色の指定はできません。配色表はP40をご覧ください。
※2 幅サイズにかかわらず、1台に付き2個のグリップで操作します。装着された状態で工場より出荷されます。

製作可能寸法

製品幅 400mm ~ 2000mm
製品高さ 260mm ~ 2400mm
最大面積 4.65㎡

操作位置

標準仕様

左ボタン

右ボタン

製品高さに応じて、下記表の通り製作します

【製品高さに対する調光ボタンの標準長さ】

製品高さ(H) (ご発注の高さ)	~914mm	915mm~1219mm	1220mm~1828mm	1829mm~2400mm
調光ボタンの長さ	451mm	610mm	756mm	972mm

【調光ボタンの長さを指定する場合】

設置箇所が高所の場合など、ご要望に合わせて、ボタンの長さをご指定ください (※1)。
ボタンの長さは451mm/610mm/756mm/972mmの4種類から選択可能です。
ボタンの長さ公差:-13mm ~ 0mm。

※ 標準の長さが通常の使用に適しており、あまり短くすると操作が制約されることがあります。

調光ボタンの長さ

ボタンの長さ
※1

【ボタンが分断して納品される場合】

ボタンの長さが製品幅より長いと、分断して納品される場合があります。
計算式で出た数字が1以下の場合、分断されずに納品されます。

計算式: (ボタンの長さ-30mm) / 製品幅

例1:製品幅:1300mm ボタン:756mmの場合

(756mm-30)/1300mm=0.558 →1本で納品されます。

例2:製品幅:600mm ボタン:972mmの場合

(972mm-30)/600mm=1.57 →ボタンは分断で納品されます。

※1 ヘッドレール上辺から調光ボタン下辺まで

仕様と構造

取り付けタイプ

取り付け条件

取り付け条件・寸法一覧

採寸方法

取り付け方法

操作方法

サイズ定義と公差

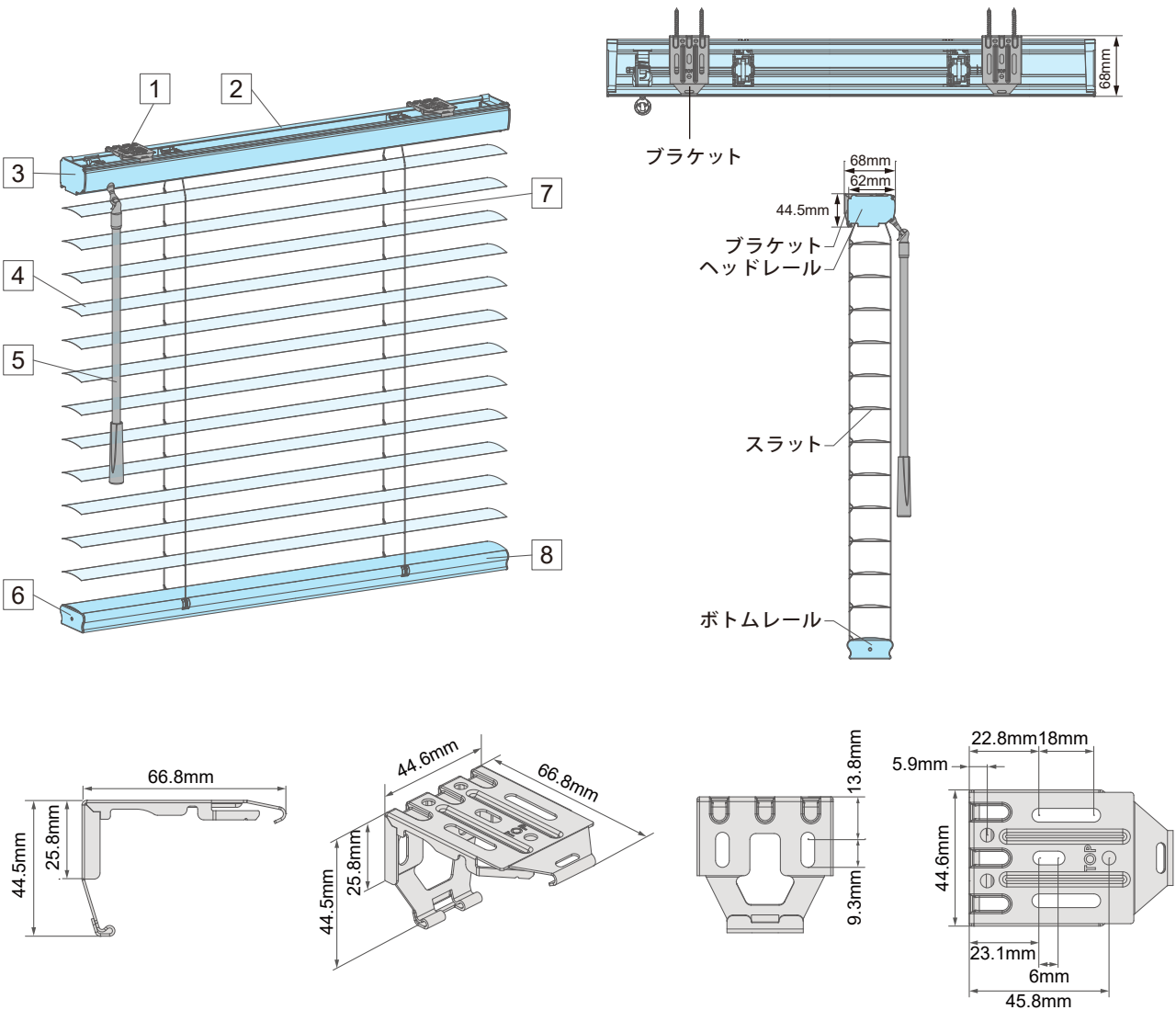
お手入れ方法

製品特性

保証について

36

1-2コードレスタイプ スラット幅:50mm



部品名	材質	備考
(1) ブラケット	標準仕様：メタル	オプション：ステンレス
(2) ヘッドレール	樹脂成形品	※
(3) ヘッドキャップ	樹脂成形品	-
(4) スラット	アルミニウム	10色
(5) 調光ボタン	樹脂成形品	※
(6) ボトムキャップ	樹脂成形品	※
(7) ラダーコード	ポリエステル繊維	※
(8) ボトムレール	樹脂成形品	※

※スラットの色に合わせて弊社規定にてコーディネートするため、色の指定はできません。配色表はP40をご覧ください。

製作可能寸法

操作位置

調光バトンの長さ

製品幅 400mm ~ 2000mm
製品高さ 420mm ~ 2200mm
最大面積 4㎡

標準仕様

左ボタン

右ボタン

製品高さに応じて、下記表の通り製作します

【製品高さに対する調光バトンの標準長さ】

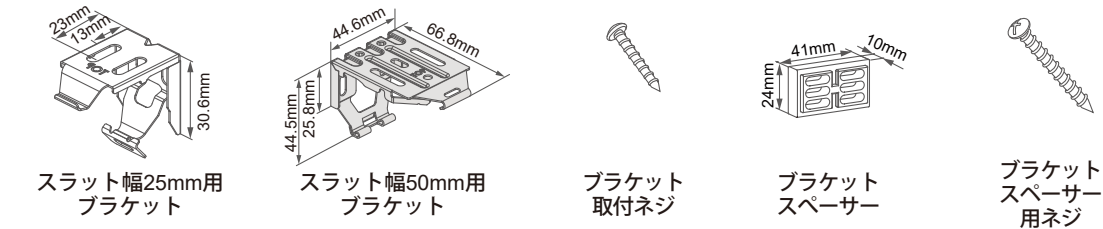
製品高さ(H) (ご発注の高さ)	～914mm	915mm～1219mm	1220mm～1828mm	1829mm～
調光バトンの長さ	451mm	610mm	756mm	972mm

【調光バトンの長を指定する場合】

設置箇所が高所の場合など、ご要望に合わせて、バトンの長さをご指定ください (※1)。
バトンの長さは451mm/610mm/756mm/972mmの4種類から選択可能です。
バトンの長さ公差：±25mm。

※1 ヘッドレール上辺からボタン下辺まで

1-3 付属部品の数量



【スラット幅25mm】

製品幅	ブラケット	壁面付け以外の場合	壁面付けの場合	
		ブラケット取付ネジ	ブラケットスペーサー	ブラケットスペーサー用ネジ
~939mm	2	4	2	4
940mm~1524mm	3	6	3	6
1525mm~	4	8	4	8

【スラット幅50mm】

製品幅	ブラケット	壁面付け以外の場合	壁面付けの場合	
		ブラケット取付ネジ	ブラケットスペーサー	ブラケットスペーサー用ネジ
~939mm	2	4	2	4
940mm~1193mm	3	6	3	6
1194mm~1905mm	4	8	4	8
1906mm~	5	10	5	10

- ※ ブラケットスペーサーの数量は、1連の場合です。2連、3連の場合は、ブラケットスペーサーの数量を増やしてください。
- ※ ネジは木部用です。木部以外の下地(石膏ボードなど) には使用できません。
- ※ 通常は19mmのネジが付属します。ブラケットスペーサー1連使用時は38mm、2連は51mm、3連は63.5mm、鴨居付けは31mmのネジが付属します。連結時のスペーサー奥行きは2連18mm、3連26mmとなります。
- ※ 仮止め用両面テープ数=ブラケット数x1+ブラケットスペーサー数x2。



1-4 ラダーコード、昇降コードの数量

スラット幅25mm						
製品幅	~812mm	813mm~990mm	991mm~1320mm	1321mm~1524mm	1525mm~1828mm	1829mm~
ラダーコード	2	3	3	4	4	5
昇降コード	4	4	5	4	6	5

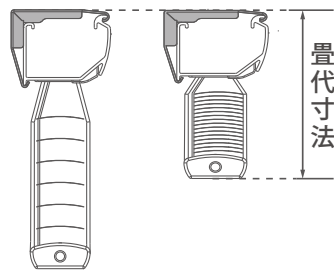
スラット幅50mm						
製品幅	~939mm	940mm~1219mm	1220mm~1701mm	1702mm~1828mm		1829mm~
				仕上がり高：~2133mm	仕上がり高：2134mm~	
ラダーコード	2	3	4	4	4	4
昇降コード	4	4	4	4	8	8

1-5 製品重量の目安

【製品重量の目安】 ※ 数値はあくまで目安であり、多少の誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

製品全体 (kg)	スラット幅	計 算 式
	25mm	製品幅(m)x0.5333+製品幅(m)x(製品高さ(m)-0.0452)x0.6552+製品幅(m)x0.2637
	50mm	製品幅(m)x0.8903+製品幅(m)x(製品高さ(m)-0.049)x0.6044+製品幅(m)x0.7793

1-6 製品量代算出式



【製品量代算出式】ブラインドをたたんだ状態の大きさ(量代)

スラット幅	計 算 式
25mm	0.56x(仕上がり高さ(mm)-55)/19.5+43
50mm	0.56x[(仕上がり高さ(mm)-90)/44+1]+81

※ 数値はあくまで目安であり、多少の誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

1-7 配色表

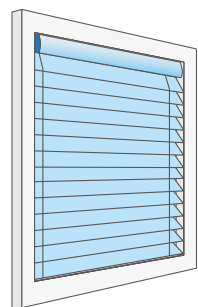
■ スラット幅25mm配色表

コレクション	スラット番号	スラット	ヘッドレール/ボトムレール	ラダーコード/昇降コード
グロス仕上げ	7022	ベージュ	ブライトホワイト	アラバスター
	7023	パニラ	クリーム	アラバスター
	7024	ピュアホワイト	ホワイト	ホワイト
	7112	ムーンシャイン	グレーカシミア	シルバー
	7115	グレーカシミヤ	グレーカシミア	シルバー
	7309	ストロベリークリーム	ピーチ	ペタルピンク
マット仕上げ	7507	ビスク	ビスク	アラバスター
	7021	アンティークレース	ブライトホワイト	アラバスター
	7026	ブライトホワイト	ブライトホワイト	アラバスター
	7030	ホワイトスノー	ホワイト	ホワイト
	7113	アイコニックグレー	シルバームーン	シルバー
	7114	ウオームトープ	シルバームーン	シルバー
	7201	ブラック	ブラック	ブラック
	7206	ペッパーコーン	ブラチナ	ブライトスチール
	7510	ハーベストゴールド	ナチュラル	ナチュラル
	7511	シュガーメープル	シュガーメープル	コテージパイン
	7604	ディープアイビー	ディープアイビー	グリーン
	7712	ロイヤルブルー	ネイビーブルー	ネイビーブルー
サテン・メタリック調	7713	スカイ	シーブルー	ブルー
	7031	ボーセリン	ブライトホワイト	アラバスター
	7102	ブラッシュドアルミニウム	シルバームーン	シルバー
	7103	シルバームーン	シルバームーン	シルバー
	7105	ブラチナ	ブラチナ	ブライトスチール
	7109	メタリックブロンズ	メタリックブロンズ	カーキ
	7205	ミッドナイト	ブラック	ブラック
	7402	ブロンズ	ブロンズ	ダークウォルナット
パンチング	7403	メタリックダークカッパー	メタリックダークカッパー	ブラック
	7027	ピュアホワイトパーフォレイテッド	ホワイト	ホワイト
	7111	シルバーパーフォレイテッド	シルバームーン	シルバー
スタッコ調	7029	シャンパン	ホワイト	ホワイト

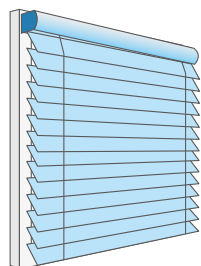
■ スラット幅50mm配色表

コレクション	スラット番号	スラット	ヘッドレール/ボトムレール	サイドキャップ	調光ボタン	ボタンフック	バドンカバー	ブラケット	ラダーコード/昇降コード
グロス仕上げ	7022	ベージュ	パール	カメオ	パール	カメオ	カメオ	パニラ	アラバスター
	7023	パニラ	パニラ	カメオ	パニラ	カメオ	パニラ	パニラ	アラバスター
	7024	ピュアホワイト	デザイナーホワイト	デザイナーホワイト	ピュアホワイト	ホワイト	スノーホワイト	ホワイト	ホワイト
	7507	ビスク	ビスク	カメオ	ビスク	カメオ	ビスク	パニラ	アラバスター
マット仕上げ	7021	アンティークレース	クリスプリネン	カメオ	クリスプリネン	カメオ	カメオ	パニラ	アラバスター
	7026	ブライトホワイト	パール	カメオ	パール	カメオ	カメオ	パニラ	アラバスター
	7030	ホワイトスノー	デザイナーホワイト	デザイナーホワイト	ピュアホワイト	ホワイト	スノーホワイト	ホワイト	ホワイト
	7201	ブラック	マットブラック	チャコール	マットブラック	チャコール	チャコール	ブラック	ブラック
サテン・メタリック調	7102	ブラッシュドアルミニウム	ストームグレー	シルバークレー	ストームグレイ	シルバークレー	シルバークレー	ストームグレー	シルバー
	7105	ブラチナ	クレイ	クレイ	クレイ	クレイ	クレイ	ブライトスチール	ブラック

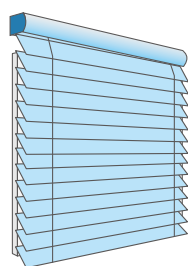
窓枠天井付け/浅天井付/
鴨居付け
(窓枠の内側に取り付ける場合)



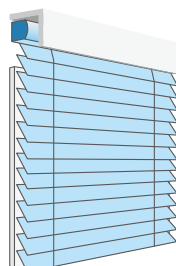
窓枠正面付け
(窓枠の正面に取り付ける場合)



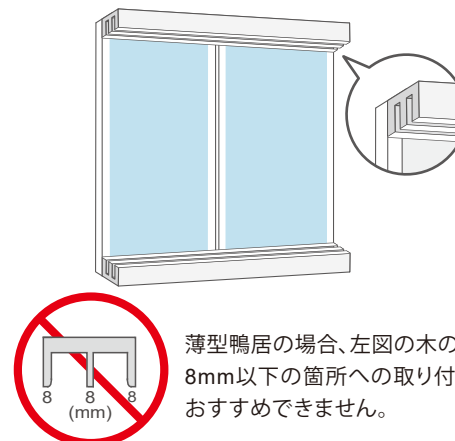
壁面付け
(窓枠の上の壁面に取り付ける場合)



カーテンボックス付け
(カーテンボックス内
に取り付ける場合)



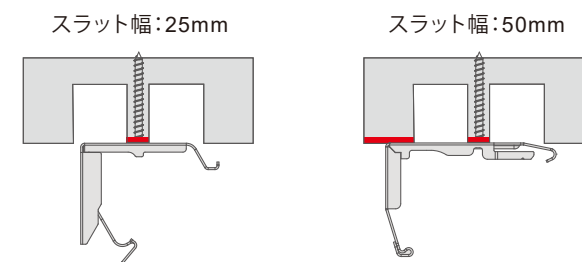
【鴨居付け】



和室によく見られる障子枠の鴨居への取り付けは可能でしょうか？

原則として、取り付けには問題はありません。鴨居の寸法を確認し、ブラインドのブラケットが2点の平面に支えられることをご確認ください。
スラット幅が25mmの場合、1点の面でも構いません。
なお、ヘッドレールの前側と鴨居の出幅が同じにならない場合がございます。

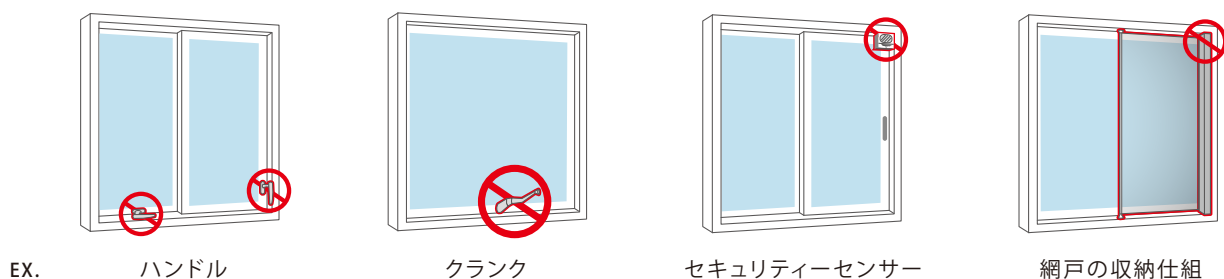
取り付けの側面図 (おすすめの取り付け方法)



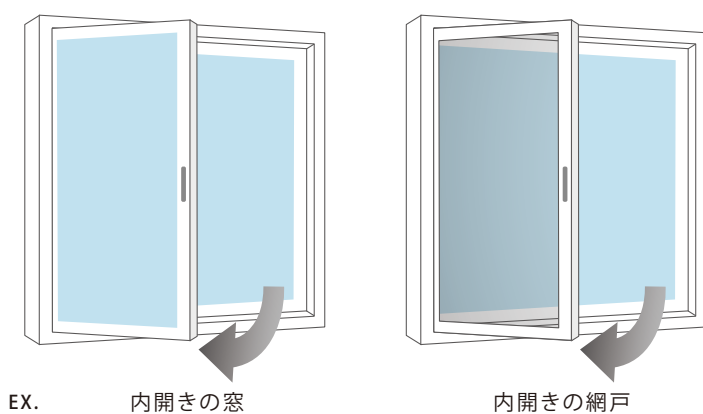
03 取り付け条件

3-1 窓枠天井付け/浅天井付/鴨居付け

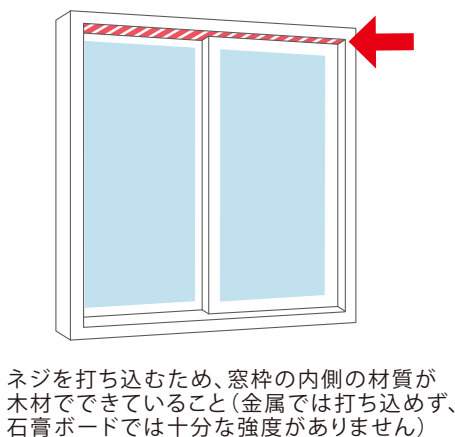
条件 1 障害物など干渉するものがないこと



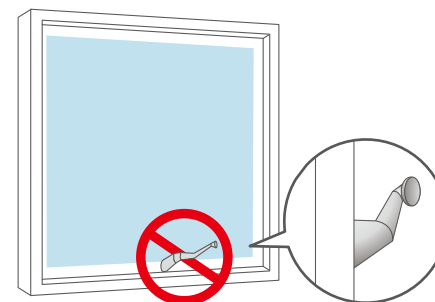
条件 2 内開き窓・網戸は避けてください



条件 3 下地が木材であること

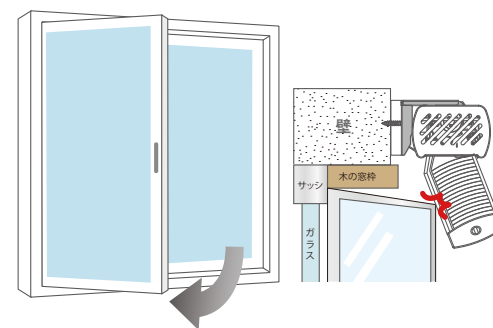


3-2 窓枠正面付け



条件 1 障害物など干渉するものがないこと

外に突出した取っ手などがある場合は、ブラインドの昇降を妨げます。
取っ手が窓枠から突出するかどうかをご確認ください。



条件 2 内開き窓・網戸は避けてください

内側に開く窓や網戸がある場合は、図のようにブラインドを収めると、
扉の開閉時の障害になります。(設置位置や畳代をご確認ください)

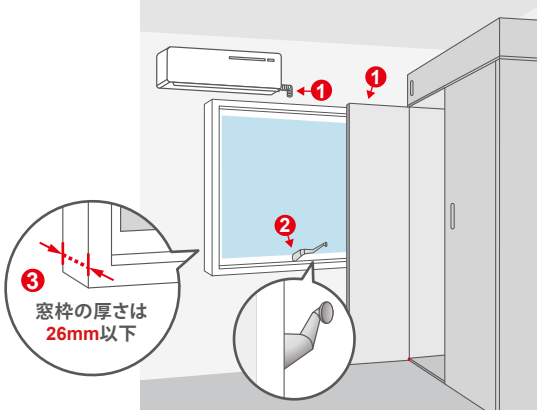
条件 3 下地が木材であること

ネジを打ち込むため、取り付け箇所の材質が木材でできていること。
(金属では打ち込めず、石膏ボードでは十分な強度がありません)

3-3 壁面付け

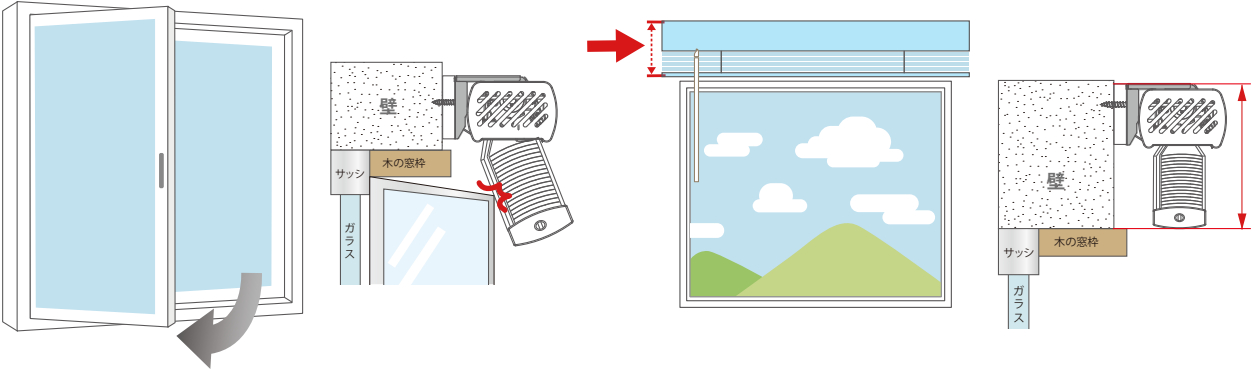
条件 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと

- ① 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと
- ② ブラインドの昇降操作に支障をきたす箇所や、窓枠よりはみ出した箇所に突出するものがないこと
- ③ 窓枠が壁面から 26mm 以上突出していないこと



条件 2 内開き窓・内開き網戸の場合、昇降時の干渉を確認済みであること

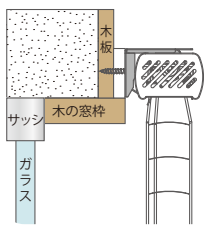
- 内側に開く窓や網戸がある場合、窓・網戸の開閉に支障がでないよう、量代計算は十分ご注意ください。
- 設置箇所における量代の計算について
畳んだブラインドを窓枠上外に収めたいときには、P46 壁面付けの採寸方法をご参照ください。



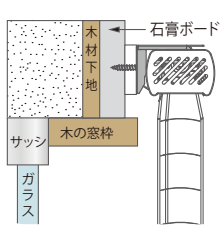
条件 3 取り付け箇所の下地が木材であること

- 下地素材が下図の場合、製品同梱のネジで取り付けが可能です。
- 下地素材が下図の場合、弊社のネジでの取り付けができません。専門業者による取り付けをおすすめいたします。

木材、ベニヤの場合

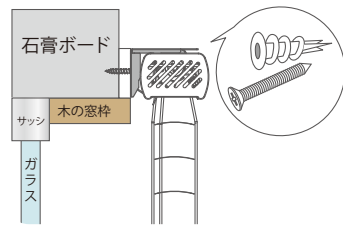


石膏ボードの下に木材の下地がある場合



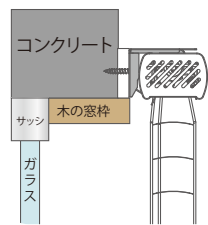
ネジが下地まで届かない場合があるため、下地までの距離をご確認ください。

木材の下地がなく、石膏ボードのみの場合



石膏ボード専用アンカー
必要があります。
※非推奨

コンクリートのみの場合

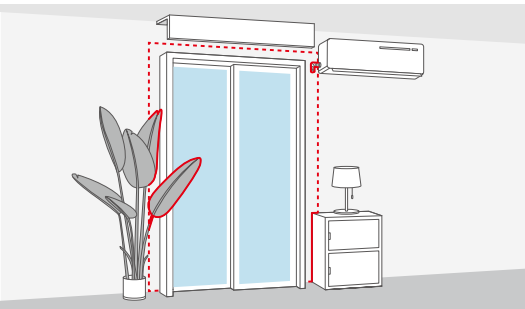


コンクリート専用ネジの
施工方法をご確認ください。

3-4 カーテンボックス付け

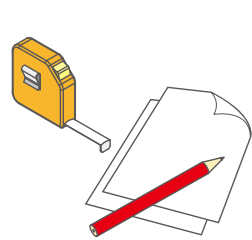
条件 1 窓枠周辺の壁に、家具やエアコンなどの障害物がないこと

- 窓枠周辺に、家具やタンス、エアコンなど障害物がないことをご確認ください。



各寸法が足りない場合、ブラケットの取り付けができません。

取り付けタイプ	参考図	断面図	必要寸法	
			25mm	50mm
窓枠天井付け			50mm	68mm
浅天井付け (製品が窓枠から若干はみ出ます)			23mm	33mm
鴨居付け			68mm	68mm
窓枠正面付け			20mm	24mm
壁面付け			30mm	26mm
カーテンボックス付け			135mm	135mm



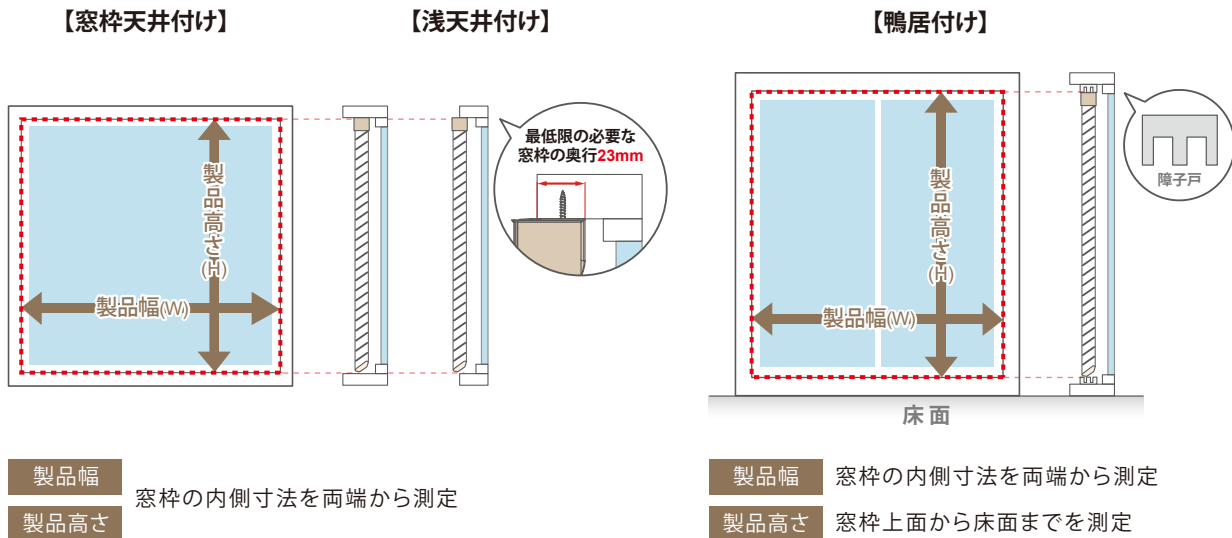
【採寸の準備】

サイズを測る際に「メモ用紙」「ペン」「メジャー」をご用意ください。

【採寸時のご注意】

1. 新築等の図面サイズで注文すると、実際の窓枠に収まらないなどトラブルの原因となります。必ず実際の窓枠サイズを採寸後、ご注文ください。
2. 窓は見た目に同じでも、1ミリ単位でサイズが異なっている場合があります。取り付け対象となるすべての窓を採寸してください。

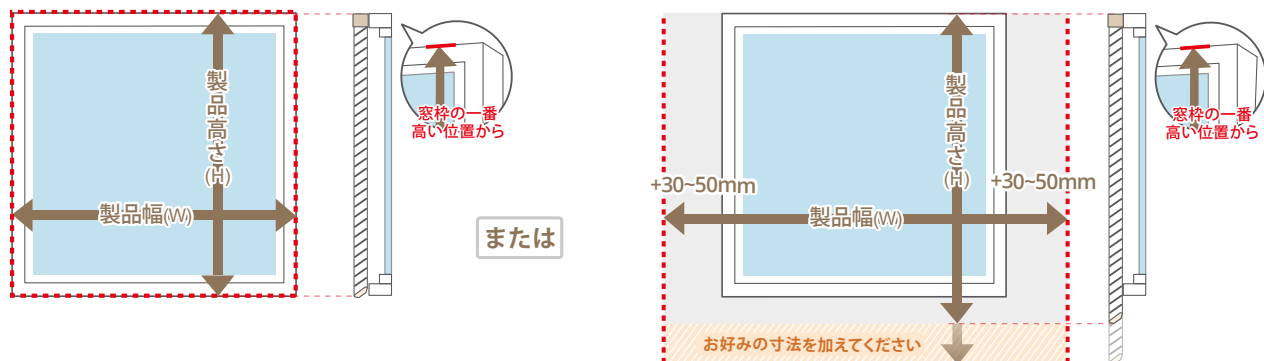
5-1 窓枠天井付け/浅天井付/鴨居付け



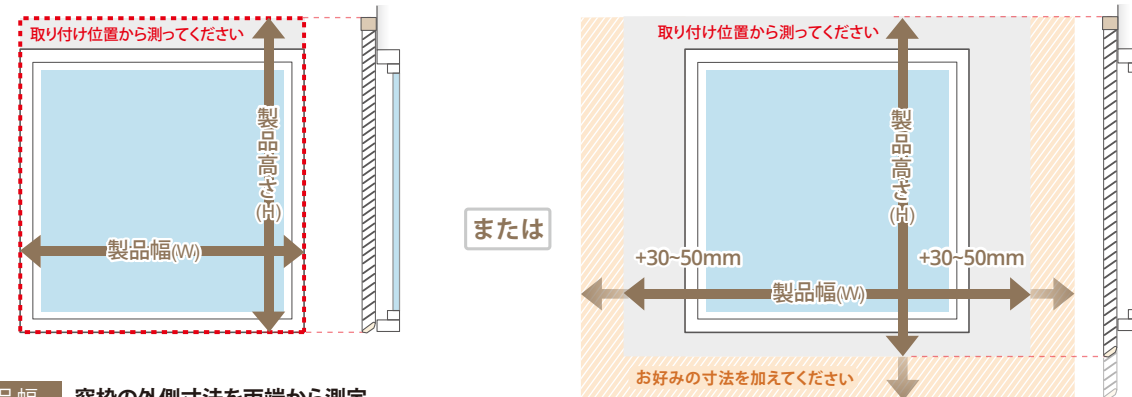
ご注意ください

1. 窓枠の歪みにより、製品が設置できない場合があります。幅・高さともに3か所以上(上中下、左右中など)を採寸し、それぞれ最小の寸法にてご注文ください。
2. コードレスタイプは製品実寸のみで発注するため、最小寸法の幅サイズを20~30mm(片側10~15mm)を引くことを推奨します。
3. 製品を天井に設置し間仕切りとして使用する場合、天井の強度が足りず設置できない場合があります。必ず下地が木材の野縁部分であることをご確認ください。

5-2 窓枠正面付け

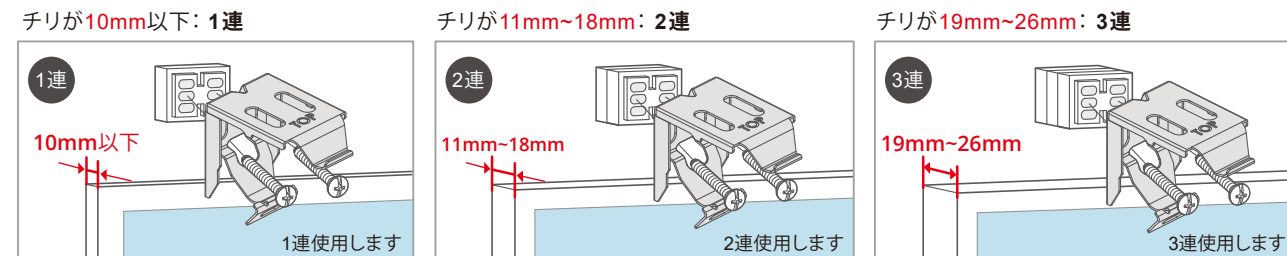


5-3 壁面付け



【窓枠のチリを逃がして取り付ける場合-ブラケットスペーサーの使用】

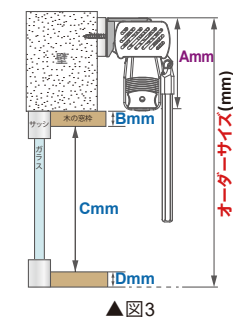
壁と窓枠にチリ(段差)がある場合、ブラケットスペーサーを使用することでブラインドの取り付けが可能です。チリの寸法に応じて、ブラケットスペーサーの個数を最大3つまで選択できます。それ以上の数が必要な場合は、壁面以外の取り付け方法をお選びください。



【製品が窓枠にかからないように収める場合の算出式】

内開きの窓や網戸がある場合(図1)や、製品を窓枠の上に収めたい場合(図2)は、下記計算をしたうえで取り付けを行うと、ブラインドを畳み込んだ際、窓枠にかからないように収めることができます。

①オーダーサイズの算出 ②量代寸法の算出 ③取付位置の確定



オーダーサイズ算出式

スラット幅	計算式
25mm	$(B+C+D+41.4205)/0.9713$
50mm	$(B+C+D+80.4145)/0.9873$

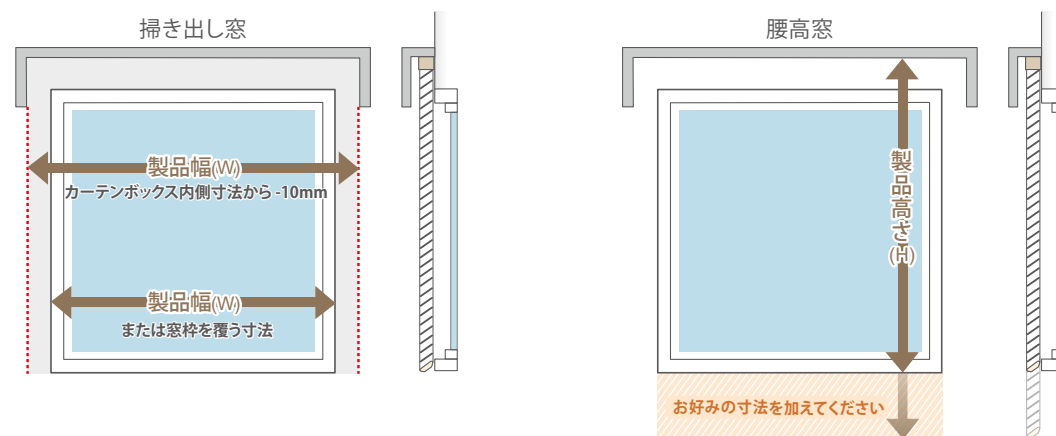
■ A製品量代算出式

オーダーサイズを計算した後、製品の量代(A)を計算する必要があります。木枠より量代(A)分上の位置にヘッドレール上面がくるように設置します。

スラット幅	計算式
25mm	$0.56 \times (\text{オーダーサイズ}(\text{mm}) - 55) / 19.5 + 43$
50mm	$0.56 \times [(\text{オーダーサイズ}(\text{mm}) - 90) / 44 + 1] + 81$

※ 数値はあくまで目安であり、多少の誤差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

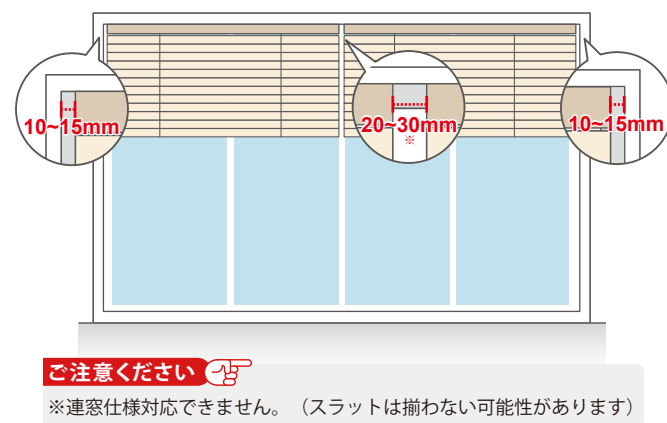
5-4 カーテンボックス付け



- 製品幅** カーテンボックス内側寸法から測定
・カーテンボックス内側寸法から10mm程度を引いてください。また、窓枠を覆う寸法を測ってください。
- 製品高さ** 取付位置から窓枠の外側寸法を両端から測定
・必要に応じて、お好みの寸法を追加することも可能です。

5-5 大きな窓や製品幅が製作可能寸法を超える場合（連窓仕様）

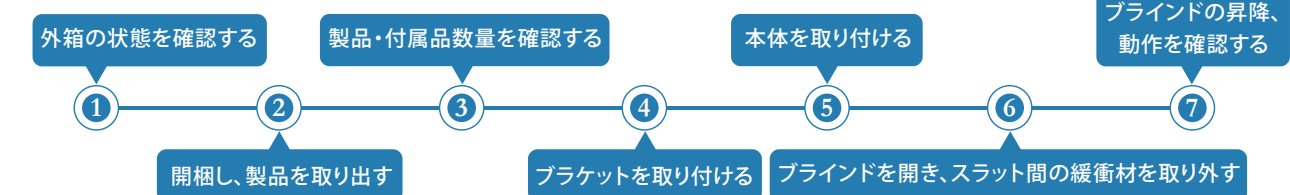
台数を分けて設置する場合は、窓サッシを境にすると見栄えも良くなります。採寸方法は1台の時と同様、設置個所の窓枠内側の寸法を測ってください。そこから幅を台数分で割ったサイズをもとに、製品に合わせ、1台あたりの幅から30mm程寸法を引くことをおすすめします。取り付け時の隙間は片側（窓枠とスラット）約15mm、2台の間（スラットとスラット）は約30mmとなります。外付けの場合も、製品間に20～30mmの隙間が必要です。



ご注意ください 🛠️ ブラケット取り付け時は必ず以下項目を確認したうえで本体の設置を行ってください。

ブラケット取り付け後確認項目	正しい	間違い
すべてのブラケットが一直線に設置されていること		
ビスがブラケットに対して垂直に取り付けられていること		

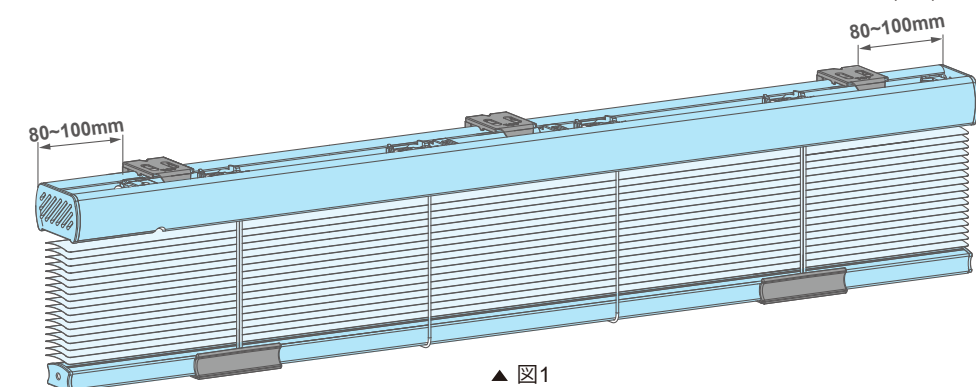
【取り付けの手順】



6-1 ブラケットの取り付け スラット幅：25mm

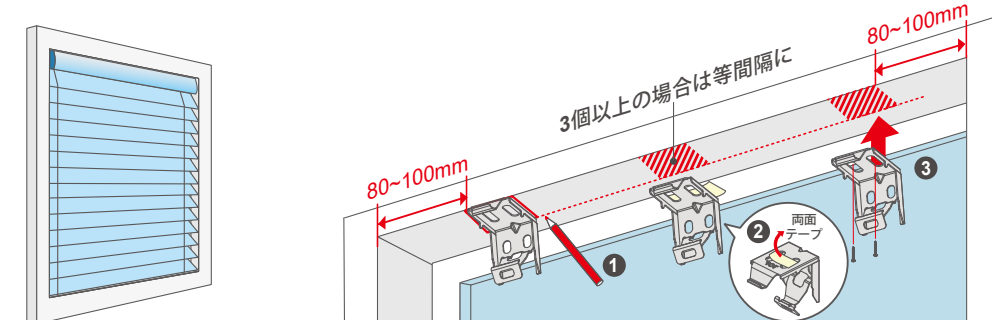
① ブラケットの取り付け

- 最初に両端のブラケット取り付け位置を決めて、ブラケットをヘッドレールの両端部から約 80～100mm 内側に両面テープで仮止めしてください。
- 各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットの間隔が均等になるようにしてください。下記図のように、なるべくヘッドレール内の機構部を避けるよう、ブラケットを取り付けてください。(図1)

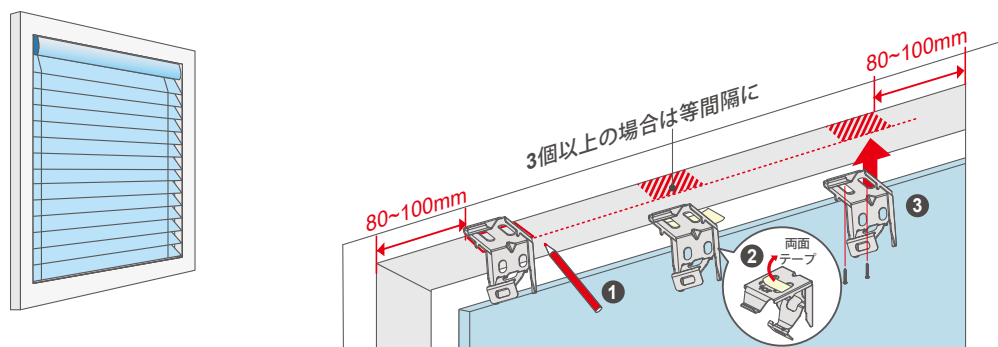


▲ 図1

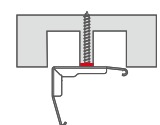
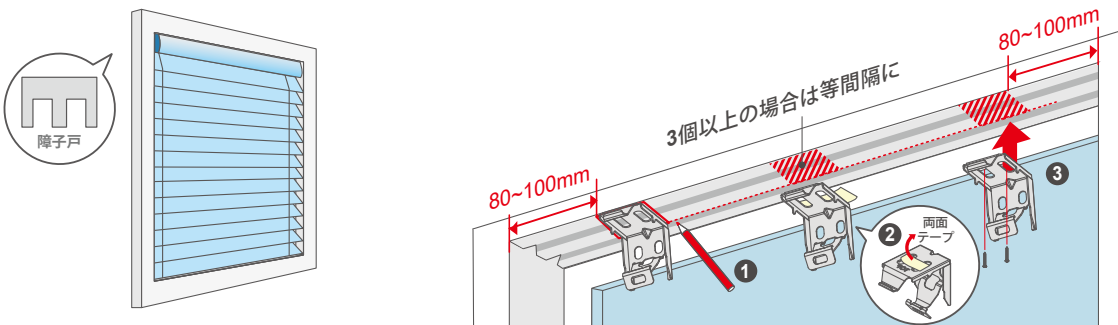
窓枠天井付け



浅天井付け

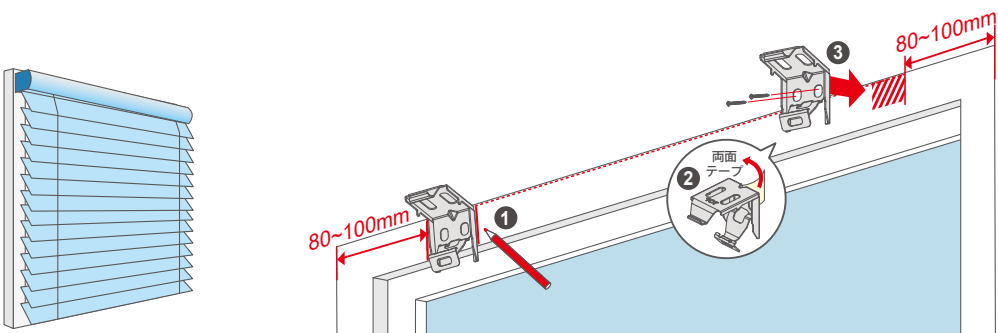


鴨居付け

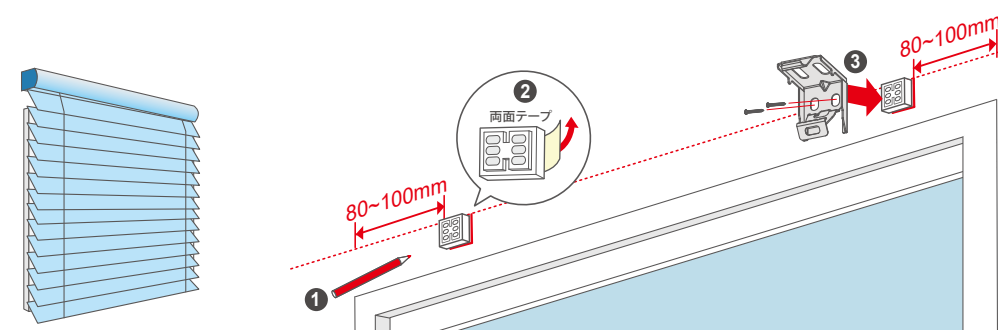


- ブラケットが図のような平面位置に接することを確認し、ネジを凸部分の面に差し込み、固定してください。
- ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットとの間隔が均等になるようにしてください。
※ 障子枠(鴨居)の取り付けには基本的問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

窓枠正面付け

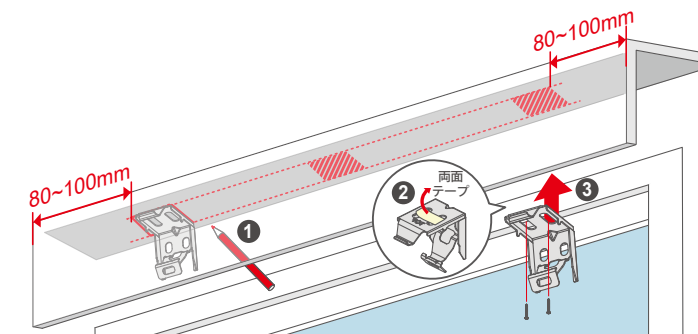
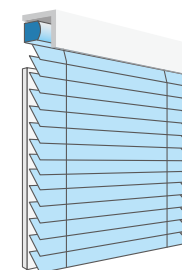


壁面付け



- ブラケットスペーサーを使用する壁面付けの場合は、取り付け箇所にブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。ブラケットを左右平行(水平)に、採寸された高さと同じ高さの位置に取り付けてください。

カーテンボックス付け



② 本体の取り付け

ヘッドレールをブラケット手前のツメに引っ掛けて、ヘッドレールを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込んで固定してください。取り付けが完了するまでは、なるべくスラットに触れないようお願い致します。

取り付けのポイント-① 目視確認!

ブラインドのブラケット取り付けは必ず最後に、目視でブラケットのツメがヘッドレールの引っかかりについていることを確認してください。まれに、カチッと音がしてもツメが引っかかっていない場合がございます。

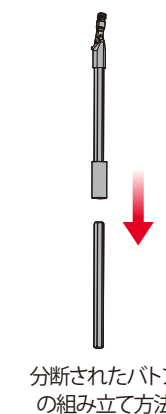
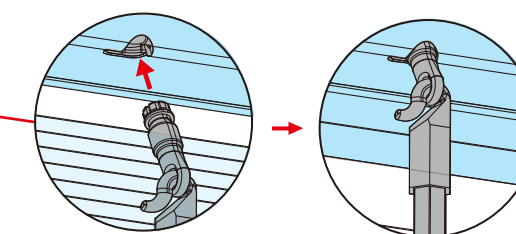
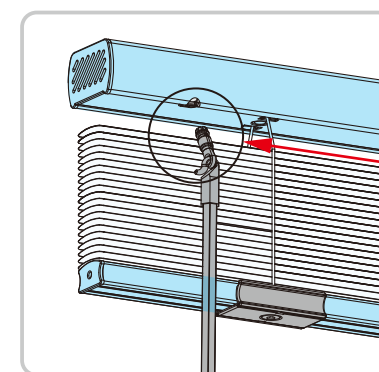
取り付けポイント-②

商品幅により、ブラケットにヘッドレールを取り付ける際、まれにブラケットの位置がヘッドレールのしなりがよくない箇所にあたり、ヘッドレールを押し込むのが困難な場合があります。その場合、ブラケットの左右位置を若干調整したのち、ブラケットの設置位置が水平かどうか再度確認の上、強めに押し込んでください。

警告 取り付けが不完全ですと製品が落下して、ケガや物が破損する原因となる恐れがあります。必ず最後の目視確認を十分に行ってください。
また、ハンマーなどで叩くとブラケットが変形し、取り付けができなくなってしまう場合がございます。

バトンの取り付け

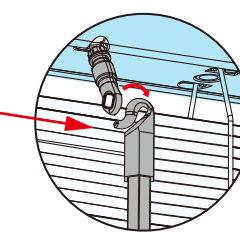
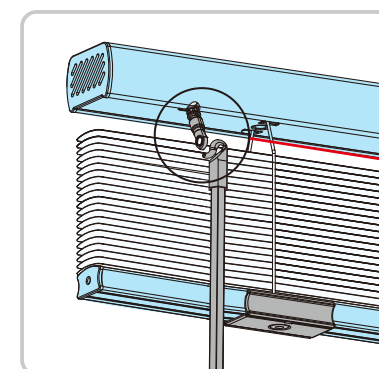
製品梱包の都合により、操作ボタンが分断される可能性があります。分断された操作ボタンが届いた場合、組み立てた上で、本体に取り付ける必要があります。



分断されたバトンの組み立て方法

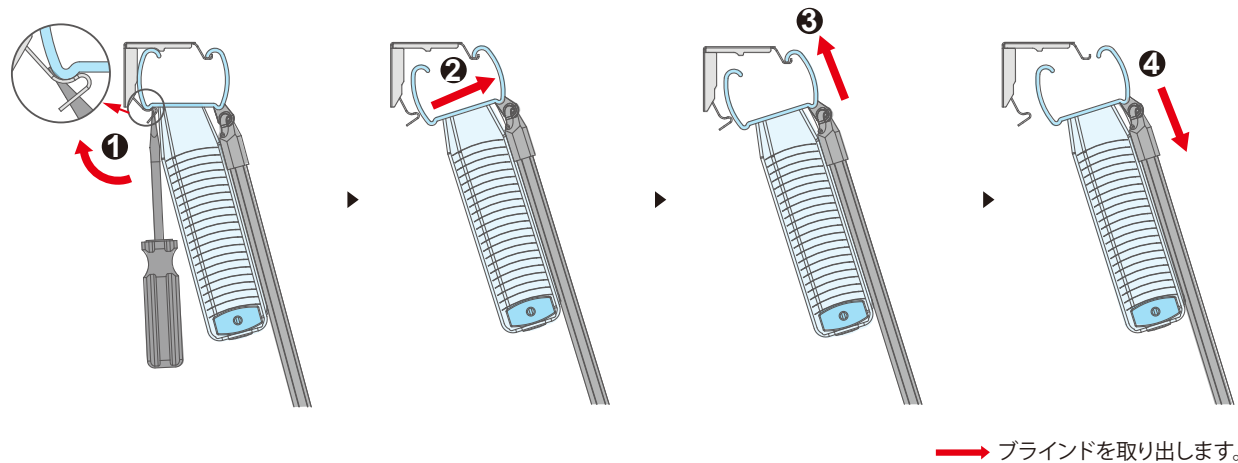
バトンの取り外し

操作バトンのフックから操作バトンのジョイント部より外してください。



③ 本体の取り外し

ブラケットの前側の隙間にマイナスドライバーを差し込んで、図①～④の手順でヘッドレールの前側に掛かっているツメを外します。ヘッドレールを④の方向へ取り外しブラインドをブラケットから取り出します。



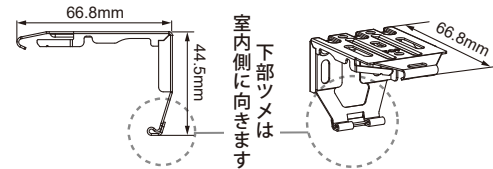
6-2 ブラケットの取り付け スラット幅:50mm

① ブラケットの取り付け

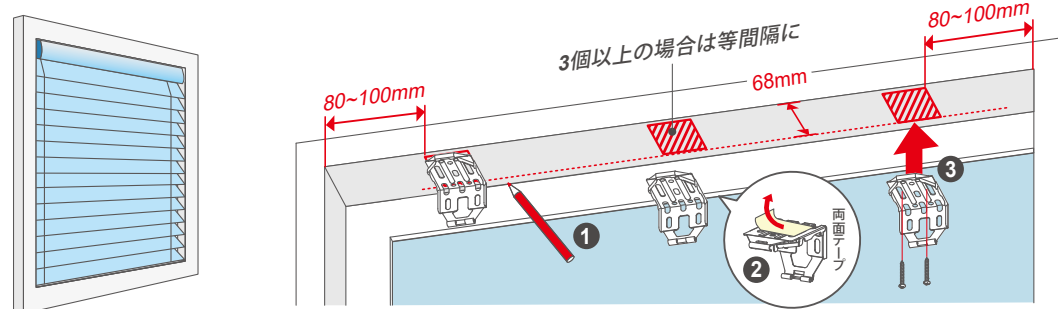
最初に両端のブラケット取り付け位置を決めて、ブラケットをヘッドレールの両端部から約80~100mm内側に両面テープで仮止めしてください。

各ブラケットが左右平行(水平)になるようにして、ネジでしっかりと固定してください。(下記参照)
ブラケットを3個以上使用する場合は、中間のブラケットとの間隔が均等になるようにしてください。

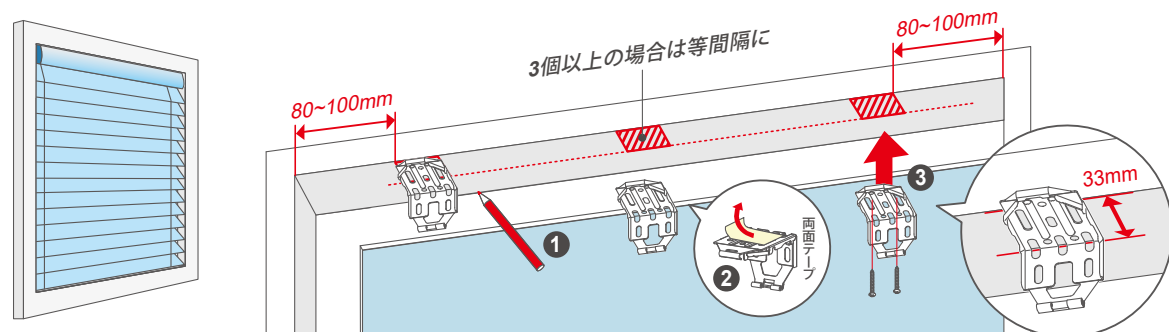
【ブラケットの設置方向】



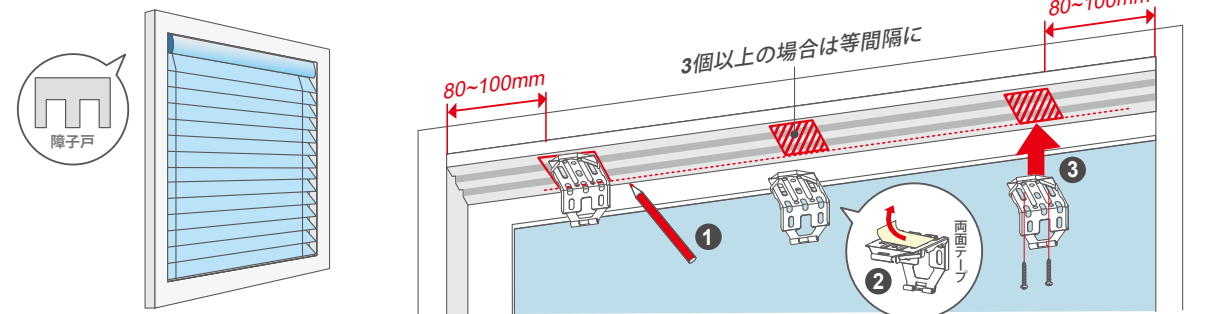
窓枠天井付け



浅天井付け

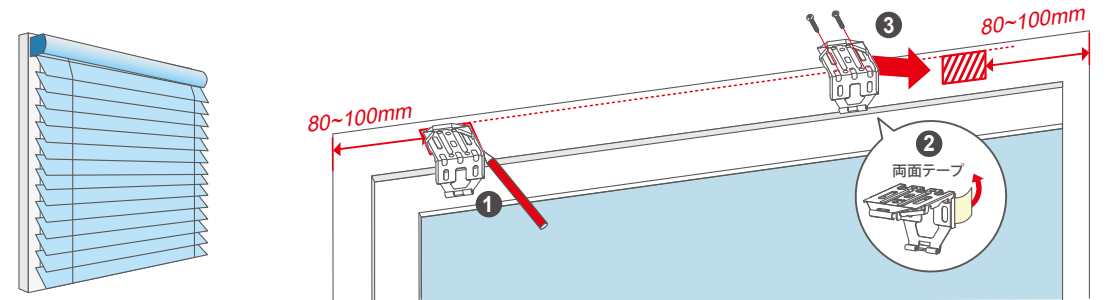


鴨居付け

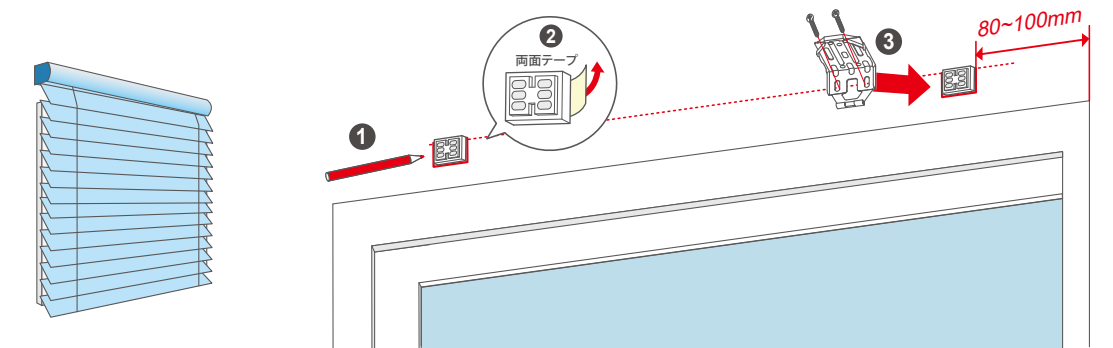


- ブラケットが2点の平面に接することを確認し、ネジを凸部分の面に差し込み、固定してください。
※ 障子枠(鴨居)の取り付けには基本的問題ありませんが、必ず下地の有無や強度を確認してください。

窓枠正面付け

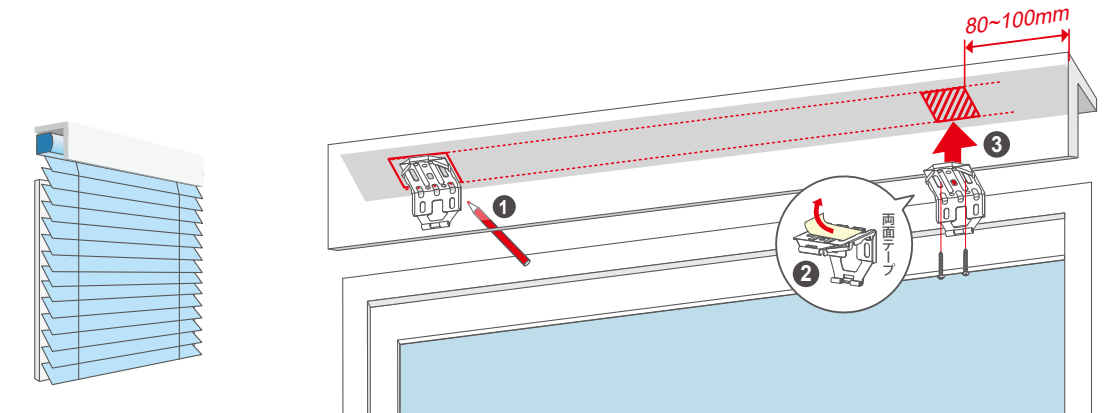


壁面付け



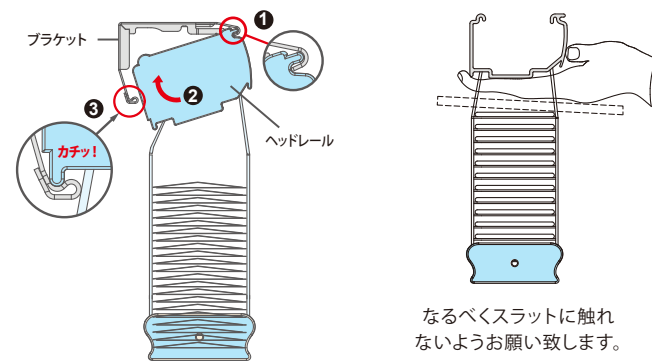
- ブラケットスペーサーを使用する壁面付けの場合は、取り付け箇所ブラケットスペーサーを両面テープで仮止めしてください。ブラケットを左右平行(水平)に、採寸された高さと同じ高さの位置に取り付けてください。

カーテンボックス付け



② 本体の取り付け

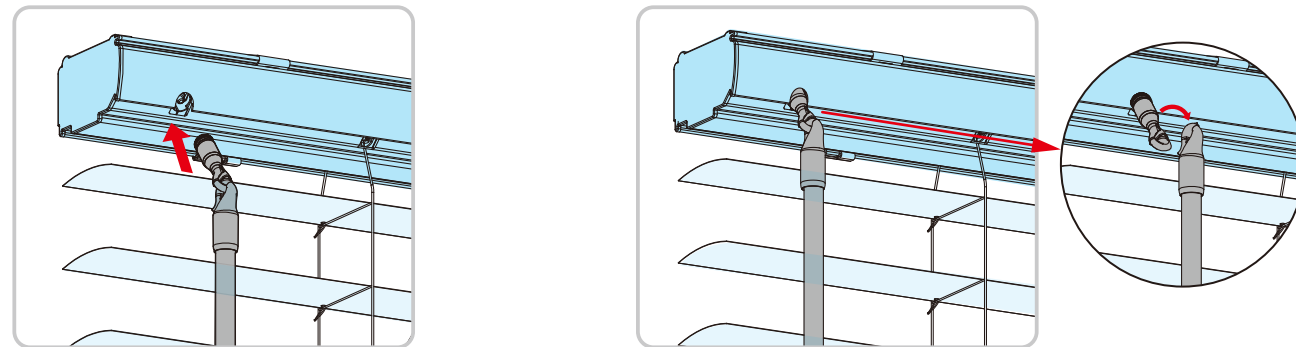
ヘッドレールをブラケット手前のツメに引っ掛けて、ヘッドレールを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込んで固定してください。取り付けが完了するまでは、なるべくスラットに触れないようお願い致します。(下図をご参考ください)



注意 製品本体を取り付けるときは、本体がブラケットにしっかり固定されていることを必ず確認してください。取り付けが不完全ですと製品が落下して、ケガや物が破損する原因となる恐れがあります。製品の幅が短い場合、取り付け時にヘッドレールがしなり難い状況もございます。その場合は強めに押し込んでください。ハンマー等で叩くとブラケットが変形し、取り付けが困難になる場合がございます。

バトンの取り付け

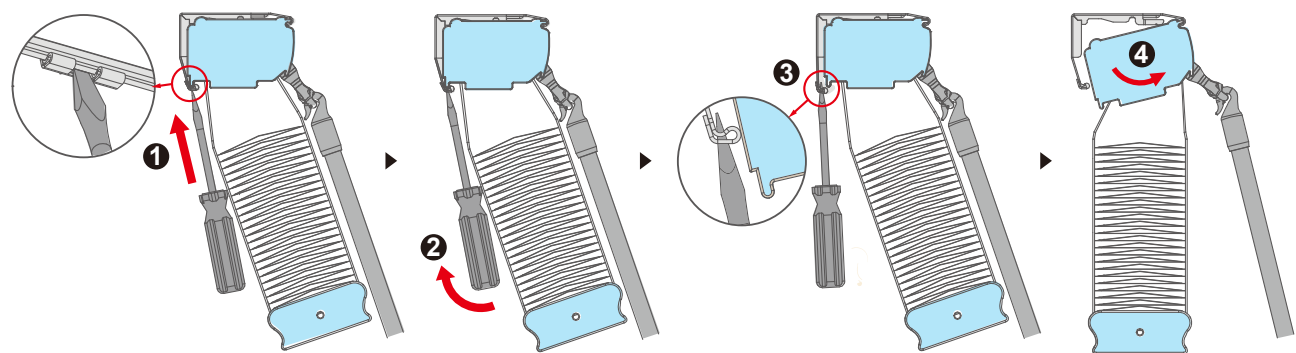
ヘッドレールの正面の取付穴にボタンを取り付けます。操作バトンのフックから操作バトンのジョイント部より外してください。



バトンの取り外し

③ 本体の取り外し

マイナスドライバーをブラケットの後方隙間へ差し込み、図①～④の手順でヘッドレールの後方に掛かっているツメを外します。ヘッドレールを④の方向へ外し、ブラインドをブラケットから取り出します。

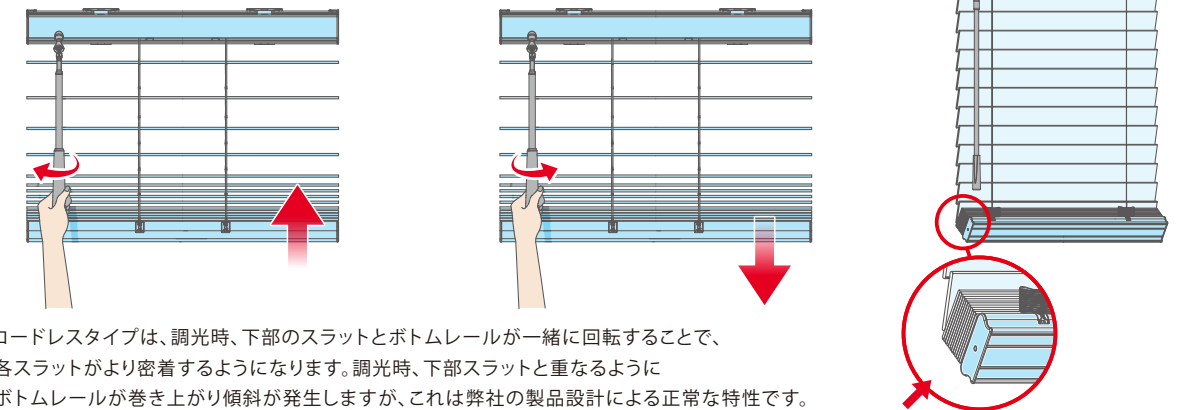


ご注意ください ブラケットからブラインド本体を取り外す際は、必ず本体を手で支えながら作業してください。

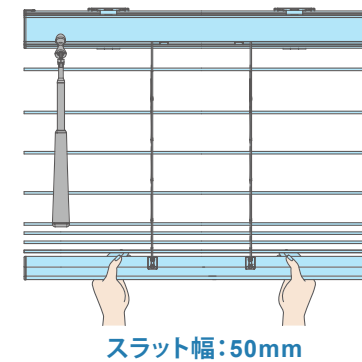
7-1 スラットの角度調整

バトンを回転させて、スラットの角度を自由に調整できます。

バトンを左に回す場合、スラットは上に向きます。バトンを右に回す場合、スラットが下に向きます。



7-2 ブラインドを降ろす場合



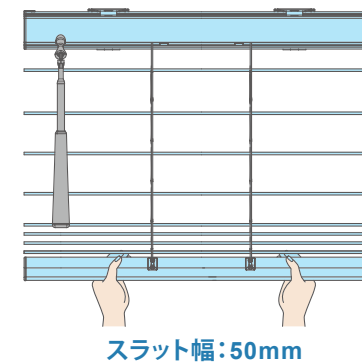
STEP1 スラットが水平になるよう調整し、両手でボトムレールをつかみます。25mmのコードレスタイプはグリップが装着されてるため、両手でグリップを掴んで操作してください。

STEP2 両手で下に引いてブラインドを下ろしてください。手を止めた位置で止まります。



注意 下部コードの状態(ゆるみのある状態)について、これもスラットがスムーズに回転するための弊社の製品設計となります。このゆるみが無いと、スラットの回転がうまくいきません。

7-3 ブラインドを上げる場合



STEP1 スラットが水平になるよう調整し、両手でボトムレールをつかみます。25mmのコードレスタイプはグリップが装着されてるため、両手でグリップを掴んで操作してください。

STEP2 両手でボトムレールとスラットを持ちながら上に上げてください。手を止めた位置で止まります。



注意 ブラインドが閉じた状態で上げ下げしないでください。故障の原因となります。

こんな時は？

調光の際に、ボトムレールと一緒に回転しない場合

ブラインドを下げる際に、引く力が強すぎる場合、機構内部がロックされる可能性があります。その場合、ボトムレールと一緒に回転できなくなります。※スラット幅が50mmの製品のみ起こる現象です。

修復方法 両手でボトムレールを軽く上に押し上げると、ロック状態が解除されます。

ブラインドを上げる際に、指定の位置で止まらない場合

ヘッドレール内部の紐が絡まっている可能性があります。

修復方法 両手でブラインドを軽く一番下まで引き下げます。スラットが水平位置の状態で、再度ブラインドを上げてください。

■コード&コードタイプ・コード&ボタンタイプ

幅					
取り付けタイプ		オーダー幅	仕上がり幅		公 差
窓枠天井付け・ 浅天井付け・鴨居付け・ カーテンレール付け (窓枠天井付け)	枠内実寸で発注	W	W-10mm	左側ヘッドキャップ端から、 右側ヘッドキャップの端まで	± 3mm
	製品実寸で発注	W	W		
窓枠正面付け		W	W		
壁面付け		W	W		
カーテンボックス付け・ カーテンレール付け(カーテンボックス付け)		W	W		
高 さ					
取り付けタイプ		オーダー高	仕上がり高		公 差
窓枠天井付け・浅天井付け・鴨居付け・ カーテンレール付け(窓枠天井付け)		H	H	スラットを閉じた状態でブラケット上端部から ボトムレール最下部まで	0 ～ +6.4mm
窓枠正面付け		H	H		
壁面付け		H	H		
カーテンボックス付け・ カーテンレール付け(カーテンボックス付け)		H	H		

※ 窓枠天井付け(浅天井付け・鴨居付け)、カーテンレール付け(窓枠天井付け)を製品幅実寸でご発注の場合はオーダー幅＝仕上がり幅となります。

■コードレスタイプ

幅				
取り付けタイプ	オーダー幅	仕上がり幅		公 差
窓枠天井付け(鴨居付け)・浅天井付け	W	W	左側ヘッドキャップ端から、 右側ヘッドキャップの端まで	± 3mm
窓枠正面付け	W	W		
壁面付け	W	W		
カーテンボックス付け	W	W		
高 さ				
取り付けタイプ	オーダー高	仕上がり高		公 差
窓枠天井付け(鴨居付け)・浅天井付け	H	H	スラットを閉じた状態でブラケット上端部 からボトムレール最下部まで	スラット 25mm：0～+23.2mm 50mm：0～+44mm
窓枠正面付け	H	H		
壁面付け	H	H		
カーテンボックス付け	H	H		



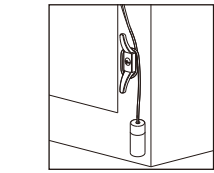
■ 日頃のお手入れは小型ぼうきや羽根はたき、またはハンドモップ等でほこりを落としてください。



■ 汚れがひどい時は、やわらかい布で部分的に水拭きしてください。

10 製品特性

- ① 製品の色味は製造ロットにより多少の差異が発生することがあります。
そのため、同色複数の製品をご検討の場合は、一度のご注文ですべての設置予定製品をご購入することをおすすめします。
通常、製品は長年の使用による、正常な経年変色が発生します。この場合、追加で同じ色の製品をご購入されても、
元々ご使用されていた製品との色味の差が発生する可能性があります。あらかじめご了承ください。
- ② お子様をコード等で遊ばせないでください。コード等が首や体に巻き付くなどの事故を招く恐れがございますのでご注意ください。
操作をしない時はお子様の手が届かない位置でコードを束ね、フックに固定してください。(図1)
- ③ スラットを支えるラダーコードと昇降コードは、二台並べて設置する際に伸縮状況により左右のスラットが完全に一直線にならない
可能性があります。(図2)
- ④ アルミブラインドのスラットは耐水機能が付いており、酸、アルカリ性の洗剤を使用すると、変色し皮膜が侵食されることがございます。(図3)
- ⑤ 25mmシリーズのアルミブラインドのヘッドレール機構は水がたまると酸化や劣化する可能性があるため、
シャワールームや洗面台の近くなど、直接に水がかかる環境に設置しないでください。
完全な防水が必要な場合は、50mmシリーズのアルミブラインドを使用し、防水金具のオプションを選択してください。



操作をしない時はお子様の手が届かない位置でコードを束ね、フックに固定してください。



コードはお子様の手が届かないようにしてください。

図1



図2



図3

- ⑥ コードレスタイプは、ブラインドを上げる際にわずかな音が発生することがあります。これは製品の正常な特性です。
- ⑦ コードレスタイプは人それぞれ操作感が異なります。操作される人やブラインドのサイズなどによって異なります。
似たようなサイズのブラインドでも、操作感に違いがでます。
- ⑧ コードレスタイプは、コード穴を特殊な配置設計にすることで「スマートプライバシー」という遮光機能を実現しています。
スラット同士の密閉度を高めるため、スラットの左右両端だけにコード穴があります。
ブラインドの各スラットは、コードで繋がれておりますが、昇降や調光操作をする際、スラットが左右にずれて、不揃いに見えることがあります。これは操作上起こりうる正常な製品状態です。(図4)
- ⑨ スラット幅が50mmのコードレスタイプは、調光時、下部のスラットとボトムレールと一緒に回転することで、各スラットがより密着するようになります。
調光時、下部スラットと重なるようにボトムレールが巻き上がり傾斜が発生しますが、これは弊社の製品設計による正常な特性です。(図5)



11 保証について

製品保証

この度は、弊社製品をご検討いただき、誠にありがとうございます。
当製品は厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万が一、保証期間内に故障した場合は無償で修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日より 3 年間

保証に関する詳細やご使用中に不具合を感じた際は、公式サイト「故障かなと思ったら」ページをご参照ください。